わたしの青少年赤十字

詩・一〇〇文字提案

作品集

「東日本大震災」
子どもたちからの声

2013 日本赤十字社福島県支部発行

はじめに

青少年赤十字の大きな特色は、学校教育の中で組織された先生方の適切な指導のもと実践されてきていることです。

日本赤十字社福島県支部は、各学校が青少年赤十字を通して人間尊重の精神を学び、充実した学校教育を推進していくための方法として、より積極的に青少年赤十字活動を推進してほしいと願っています。

このような考えをふまえ、福島県支部では、本年度も県内加盟校を対象に、児童生徒の作品を募集いたしました。特に今年度も昨年度に引き続き、海外の赤十字社から寄せられた救援金で行われております「東日本大震災復興支援推進事業」（今年度までの予定）の一つとして実施し、最優秀賞に選ばれた作品の中から「日本赤十字社社長賞」「日本赤十字社福島県支部長賞」「青少年赤十字福島県指導者協議会会長賞」「福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長賞」さらに「学校奨励賞」を設定し、選考されたところです。

このたび、選考された作品をまとめ、作品集として刊行する運びとなりました。子どもたちの大震災にもめげずがんばっている、生き生きとした姿をお読みいただければ幸いです。

募集作品

□詩（いのちの詩、愛の詩）

東日本大震災から三年が過ぎようとしております。その復興にむけ、小中学生や高校生の皆さんも、少しずつがんばって生活しようとしているようです。

そのような中で、あらためて「いのち」「愛」について見つめなおす機会になったのではないでしょうか。このように、「命」「愛」について、見つめなおしたり、日頃考えたりしていることなどを「詩」などに表現してほしいと願い、作品を募集いたしました。

□わたしの一〇〇文字提案

さらに、次のテーマから選んで、自分の考えを一〇〇文字以内に端的に表現した作品を募集しました。

「あたたかい言葉のプレゼント」

「わたしの夢・福島のみらい」

「お友だちのすばらしいところ」

「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようと考えていること』」（高校生のみ）

これらの課題について、児童生徒の皆さんのユニークな考えや想いを表現してほしいと願い、作品を募集いたしました。

目次

はじめに・募集作品

特別賞
社長賞……7
支部長賞……8
県指導者協議会長賞……13
県賛助奉仕団委員長賞……14

詩「いのちの詩・愛の詩」
最優秀……18
優秀……21
佳作……27
入選……29

一〇〇文字提案「あたたかい言葉のプレゼント」
最優秀……35
優秀……37
佳作……41
入選……43

一〇〇文字提案「わたしの夢・福島のみらい」
最優秀……49
優秀……54
佳作……64
入選……66

一〇〇文字提案「お友だちのすばらしいところ」
最優秀……73
優秀……76
佳作……82
入選……84

一〇〇文字提案「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようと考えていること』」
最優秀……91
優秀……92
佳作……94
入選……94

学校奨励賞……95

応募校一覧……96

作品審査を終えて……98

特別賞受賞作品

社長賞

「いのちの詩・愛の詩」
福島市立福島第一中学校
三年　宇野　翔

支部長賞

「いのちの詩・愛の詩」
喜多方市立第一小学校
四年　國分　真生

「あたたかい言葉のプレゼント」
矢祭町立石井小学校
六年　深谷　龍河

「わたしの夢・福島のみらい」
天栄村立広戸小学校
六年　戸川　大文

「お友だちのすばらしいところ」
天栄村立牧本小学校
一年　杉村　和奏

「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようと考えていること』」
福島県立郡山商業高等学校
二年　中村　啓南

県指導者協議会長賞

「いのちの詩・愛の詩」
喜多方市立第一小学校
四年　田中　紳介

県賛助奉仕団委員長賞

「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようと考えていること』」
福島県立郡山商業高等学校
三年　福田ひかる

社長賞

「いのちの詩・愛の詩」

福島市立福島第一中学校　三年　宇野　翔

小学校の　卒業式はなかった
返事や合唱の練習をあれほどやったのに
卒業証書は　校長室で
学校は　先生は　友達は　無事だった
先生方の拍手や言葉は　一人で受け取るには温かすぎた

支部長賞

「いのちの詩・愛の詩」

喜多方市立第一小学校　四年　國分　真生

うちのおはかは小さい。
おぶつだんも小さい。
赤ちゃんのだから。
お姉ちゃんは、
一才になる前に天国へ行ってしまった。
だけど、
ごはんもケーキも分けっこしている。
たとえ天国にいても、
大切な家族の一員だから。

「あたたかい言葉のプレゼント」

矢祭町立石井小学校　六年　深谷　龍河

「龍河くんがいなくてさみしいよ。はやく良くなってね。」
これは、ぼくが入院してしまったときにもらった手紙に書いてあった言葉だ。
自分を必要としてくれていると感じた。
友達がいて本当に良かったと思う。

「わたしの夢・福島のみらい」

天栄村立広戸小学校　六年　戸川　大文

春には花がさいて
夏にはセミが鳴いて
秋にはもみじの山で
冬にはまっ白な雪が
ふってくる

百年後の未来も
ずっとずっとこの景色
がみられる福島で
ありますように

「お友だちのすばらしいところ」

天栄村立牧本小学校　一年　杉村　和奏

りおちゃんは、おえかきがじょうずです。
ひなたくんは、けいさんがはやいです。
まやちゃんは、かけっこがはやいです。
ゆうやくんは、たたかいごっこがすごいです。
わたしは、
おおきいこえであいさつがとくいです。

「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようと考えていること』」

福島県立郡山商業高等学校　二年　中村　啓南

東日本大震災で、人のあたたかさ、絆の太さに気づいた。自分にもできることはないのかと考え、震災後、避難所となっていた中学校へ行き、食べ物や毛布などを持っていったりした。

人の役に立てるのが嬉しかった。

県指導者協議会長賞

「いのちの詩・愛の詩」

喜多方市立第一小学校　四年　田中　紳介

お母さんの手は
ぼくよりちょっとだけ大きくて
やわらかくてあったかい
手をつないでぼくがギューって力をいれると
ギューって返してくれる
すごーくほっとするんだ
ぼくと命がつながっているからなのかな

県賛助奉仕団委員長賞

「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようと考えていること』」

福島県立郡山商業高等学校　三年　**福田ひかる**

私が震災を体験した際に一つだけ安心していたことがある。それは日本の治安の良さだ。

あまりにも大きな災害を前にしても、人としての理性と常識をもって行動している証だ。

私もこの素晴らしい社会の一員でありたい。

詩「いのちの詩・愛の詩」

「いのちの詩・愛の詩」
最優秀賞・優秀賞 受賞者一覧

最優秀賞

桜の聖母学院小学校
三年 占部 太提

二本松市立原瀬小学校
四年 志賀 海人

郡山市立富田西小学校
五年 平 琉之介

須賀川市立西袋第二小学校
一年 曽我 綾音

須賀川市立大森小学校
六年 熊田 陽

鏡石町立第二小学校
四年 遠藤 優作

天栄村立牧本小学校
四年 熊田 翔太

喜多方市立第一小学校
四年 山田 晃大

福島市立福島第一中学校
二年 長正 憲武

福島県立白河実業高等学校
三年 青木 匠

優秀賞

郡山市立片平小学校
四年 荒川 絢音

郡山市立金透小学校
三年 栗田 結菜
六年 鈴木 啓太

郡山市立桃見台小学校
二年 荒木 優哉

郡山市立富田東小学校
四年 秋山 優太
四年 児島 安莉
四年 阿部 瑞季

郡山市立富田西小学校
二年 早田すみれ
五年 厚海 梨瑚

須賀川市立第一小学校
五年 徳力 尊

須賀川市立西袋第二小学校
二年 小針 颯大
五年 伊東 美空

鏡石町立第一小学校
五年 姫路 涼花

鏡石町立第二小学校
一年 坂内 翠太
三年 小林 夢花
四年 斎田 小晴
五年 皆川 未来
五年 髙島 奈月
六年 添田 隼杜

天栄村立大里小学校
六年 田中 光夏

天栄村立牧本小学校
四年 真船 空怜
四年 北畠 太陽

天栄村立湯本小学校
六年 佐藤 萌歌

石川町立中谷第二小学校
五年 深谷 知沙

玉川村立川辺小学校
三年 和知 里恩

白河市立表郷小学校
六年 大久保雄飛

西郷村立熊倉小学校
五年 小澤 心花

会津若松市立城北小学校
五年 湯浅 朱香

会津美里町立新鶴小学校
五年 酒井 康誠

新地町立新地小学校
六年 山田 怜海

福島市立福島第一中学校
一年 齋藤 俊輔
二年 横山亜美沙
三年 奥川 玲乃

福島市立福島第二中学校
三年 七宮 舞
三年 菅野 亜美

いわき市立大野中学校
三年 北村 早

いわき市立植田中学校
一年 澤田 望

福島県立白河実業高等学校
二年 本城 希
三年 佐藤 咲良

『いのちの詩・愛の詩』最優秀賞

桜の聖母学院小学校　三年　**占部　太提**

そぼの家で
まめのかわむきをしていたら
まめにいも虫がついていた
これは小さないのち
あたたかいいのち
だから
そっと、外の葉にのせてあげた

二本松市立原瀬小学校　四年　**志賀　海人**

三月十一日に大きな地震があった
次の日はぼくのたん生日
おばあちゃんがケーキを買っていてくれた
うれしかった
プレゼントはなかったけれど
ケーキと
「海人、おめでとう。」という言葉が
本当にうれしかった

郡山市立富田西小学校　五年　**平　琉之介**

海で遊んでは
いけません
公園で遊んでは
いけません
つりをしては
いけません
いけません、いけませんって
じゃあ、どこで遊べばいいんだ

須賀川市立西袋第二小学校　一年　**曽我　綾音**

「いってきます」
「いってらっしゃい」
「ただいま」
「おかえり」
おじいちゃん、おばあちゃん、おとうさん、おかあさん、いも
うと、
これからもまいにち
あいさつしようね。

須賀川市立大森小学校　六年　熊田　陽

「ありがとう。」
その一言で、相手から、
「いいえ、どういたしまして。」
という言葉が出てきて、人と人とがつながる。
そして、友達がまた一人、また一人と増えていくといいな。

鏡石町立第二小学校　四年　遠藤　優作

あきこばあちゃん元気ですか
天国は楽しいですか
天国はどういう所ですか
この前運動会でぼくは一位をとりました
歯のポスターで　賞をもらいました
もし今度会ったら　おしえてあげたいです

天栄村立牧本小学校　四年　熊田　翔太

ほうしゃのう
いつになったら
なくなるの
お母さん
赤ちゃんうむの
まよったね
こんにちはぼくの弟
りゅうた君
だれか消してよ
ほうしゃのう

喜多方市立第一小学校　四年　山田　晃大

朝、目がさめる。
太陽の光や小鳥の声、風の音。
いろいろゆっくり僕をつつんでいく。
今日も元気だ、うれしい。
手を伸ばし足を伸ばす。
太陽は笑ってる。
風は僕の頭やほほをそっとなでてゆく。
元気は僕の宝物。

家がなくなった
街がなくなった
人が亡くなった
でも
絆が生まれた
感動が生まれた
世界が一つになった
失ったものばかりじゃない
得たものを数え一歩ずつ前進しよう

福島市立福島第一中学校　二年　長正　憲武

なくそうよ
差別といじめと無関心
やめようよ
見ないふりと知らんぷり
育てよう
認める心と思いやり
考えよう
命の儚さ　尊さ
大切な命
いらない命は一つもない

福島県立白河実業高等学校　三年　青木　匠

『いのちの詩・愛の詩』優秀賞

郡山市立片平小学校
四年　荒川　絢音

妹が生まれた
妹がわらった
わたしもわらった
家族もわらった
みんながわらった
妹は天使だ
みんなの天使だ
どんどん　おおきくなぁれ

郡山市立金透小学校
三年　栗田　結菜

生きてるよ
家のお庭にたくさんの
草花がさいている
太陽の光にてらされて
にこにこわらってる
風にふかれて気もちがよさそう
わらい声が私には聞こえてくるよ
気もちがいいんだね

郡山市立金透小学校
六年　鈴木　啓太

愛とは何？
愛は見えない
愛はさわれない
愛は表せない
でも
愛は感じられる
そう
心で！

郡山市立桃見台小学校
二年　荒木　優哉

ぼくには、
一さいはんのいもうとがいます。
名前は、ちひろです。
ぼくが、
「ちいちゃん」
とよぶと、いつも、とびきりかわ
いいえがおで、とことことときてく
れます。
ぼくは、しあわせです。

郡山市立富田東小学校
四年　秋山　優太

やさしさ
たのしさ
思いやり
どきどき
きらめき
わくわく
たいせつな
いのちのために
いつも
かんじていたい

郡山市立富田東小学校
四年　児島　安莉

いのちがどきん
むねがどきん
心がどきん
ぜんぶどきん
体がどきん
せなかもどきん
ぜんぶどきん
いのちがどきん

郡山市立富田東小学校
四年　阿部　瑞季

気持ちの色

かなしいきもちは青
元気だとオレンジ
うれしいとピンク
おこると赤
スッキリしたらきみどり
のんびりは黄色
こころぼそいと水色
たくさんな色

郡山市立富田西小学校
二年　早田すみれ

大きなじしん
とてもこわい
すごくこわい
ほうしゃのう
なくなれ
なくなれ
じてん車にのって
あそびにいきたいな
こうえんで
おべんとうもたべたいな。

郡山市立富田西小学校
五年　厚海　梨瑚

私のいとこは
もうすぐ三才になります
生まれた日のことは
今でもはっきりとおぼえています
私は早く大きくなってほしいなぁ
と思ったり
赤ちゃんのままでいてほしいと
思ったり
とてもふしぎなきもちです

須賀川市立第一小学校
五年　徳力　尊

ぼくは生まれた
今から十一年前
六月二十四日
午後四時三分
梅雨なのに空は
晴れていたそうだ
母からもらった命を
大切にしよう
青い空を見て
そう思った

須賀川市立西袋第二小学校
二年　小針　颯大

ぼくがまいたあさがおのタネ。
水とたいようで、
どんどんのびていく。
きれいなみどり色のはっぱと、
かわいいピンクの花がさいた。
ぼくもあさがおのように、
太ようにむかっていきたい。

須賀川市立西袋第二小学校
五年　伊東　美空

震災でなくなった
多くの命が
どこにも売ってない
スーパーにも
百貨店にも
どこをあたっても
世界をまわっても
こんなに悲しいのは
初めてだった
命って　大切だな

鏡石町立第一小学校
五年　姫路　涼花

おばさんのおつや
お線香のにおいと
おばさんの写真
わたしはなぜいるの
ふと思った
生きなさい
生きているだけでいい
精一杯生きなさい
そんなふうに
聞こえた気がした

鏡石町立第二小学校
一年　坂内　要太

こわかった。
いつもと、ちがうのが
ぼくにも、わかった。
こわかった。
どうして、いいのか、
わからなかった。
こわかった。
ぼくのそばには、
みんなが、いてくれた。
そして、ほっとした。

鏡石町立第二小学校
三年　小林　夢花

わたしは、ふた子の妹。二人どうじに、めばえたいのち。
おかあさんのおなかにいたときからずっといっしょ。
いっしょすぎて、イヤになる時もある。
でもね、
いなくなっちゃったらさみしいよ、お兄ちゃん。

鏡石町立第二小学校
四年　斎田　小晴

今年、犬をかった。
今まであまり、わからなかった、「命」の大切さがわかった。
ごはんをあげなければ、犬はおなかがすいてなく。
今年、あずかった大切な大切な大切な「命」
ちゃんと守ってあげたいな。

鏡石町立第二小学校
五年　皆川　未来

私が三才になったころにおばあちゃんが亡くなりました。
私は、おそうしきの時に、おばあちゃんの骨を見て、
「これおばあちゃんじゃない。」
と泣きながらさけびました。
今も私はおばあちゃんのことが大好き。

鏡石町立第二小学校
五年　髙島　奈月

わたしは、お母さんがいない。
わたしは、もしも、お母さんがいたら、お母さんが、得意だった編み物をいっしょにしたい。お母さんは、それを病院でもやっていた。

鏡石町立第二小学校
六年　添田　隼杜

ぼくの背は
もうすぐお母さんに届く
産まれた時
四十八センチメートル
ぼくが台所でお母さんのそばに立つと
びっくりした顔で
笑ってくれる
いつもおいしい食事
ありがとう

天栄村立大里小学校
六年　田中　光夏

みんなって不思議。
最初は知らない人、
今では、大好きな人。
みんながいるだけで毎日がとても楽しい。
ううん、楽しくってしかたがないんだ。
六年間いろんなことがあったね。
これからもみんなは大好きな人。

天栄村立牧本小学校
四年　真船　空怜

ぼくがつったアジ
ビチビチあばれるアジ
だんだん弱るアジ
動かなくなった
さばかれた
ぼくはきれいに食べた
弟もほねまで食べた
みんなえ顔になった
ぼくの体になる
弟の体になる

天栄村立牧本小学校
四年　北畠　太陽

ミーン
ミーン
せみが鳴いてる
ミーン
ミーン
うれしそうに鳴いてる
暑い夏
みじかい命
せいいっぱい
生きている

天栄村立湯本小学校
六年　佐藤　萌歌

一瞬で奪われた、たくさんの命、
夢、希望。
その一カ月後に私の弟は生まれ
た。
とても愛しい小さな命。
私は信じたい。これからの未来を、
夢を、希望を。

石川町立中谷第二小学校
五年　深谷　知沙

人の命って不思議
なくなるのは
かんたんなのに
もとにもどすことは
できない
一回きりの命
つらいし悲しい
でもその分
いいこともある
本当に不思議だね

玉川村立川辺小学校
三年　和知　里恩

ぼくの家には、犬のプリンとね
このぴかがいます。
ぼくが一人で家にいると、プリン
とぴかがちかづいてきます。
「さびしくないよ。ぼくらがいる
よ。」
まるで、そういう声が聞こえてく
るようです。

白河市立表郷小学校
六年　大久保雄飛

お母さんが、だんだん目が見え
なくなる病気になった。
ぼくは早く大人になって車の免許
をとりたい。
生まれて初めて、本気で、誰かの
ためにがんばりたい、助けてあげ
たいとぼくは思った。
お母さん、大丈夫だよ。

西郷村立熊倉小学校
五年　小澤　心花

がんばったね
やったね
ありがとう
ごめんね
すごいね
だいすきだよ
おはよう
こんにちは
そんなあたたかい言葉が
一番の大きな幸せ

会津若松市立城北小学校
五年　湯浅　朱香

泳ぎには自信があったはずなのに
追い付かれて
のみ込まれ…。
思い出運んだ車たち
思い出つまった家々も
追い付かれて
のみ込まれ…。
うすれてゆく
きおくにならぬように

会津美里町立新鶴小学校
五年　酒井　康誠

メダカの卵
みつけた
卵の中が一日一日変化する
泡が集まった
今日は目ができた
今日は心臓が
血が流れはじめた
ちいさい命
大切な命

新地町立新地小学校
六年　山田　怜海

地しんのとき私は外へ逃げた。
地しんのとき私はおびえていた。
地しんのとき津波は町へおしよせ
てきた。
地しんのとき姉は私をはげまし
た。
「地しんのとき」
私は今も忘れない。

福島市立福島第一中学校
一年　齋藤　俊輔

あの時、僕達は希望を失っていた。震災のせいで……震災のせいで……うらめしかった。
けれど全国から外国から励まされた。嬉しかった。あの支えられた時を忘れない。
今度は僕らが支える番だ！

福島市立福島第一中学校
二年　横山亜美沙

ただ立ち尽くすだけの長い夜
何もない街に浮かぶ
見たことのない青空
光が差し込む
土に埋もれた一つの芽
そこで立ち止まらず
厳しい冬をたえ
強く咲きほこった
故郷（ふるさと）の桜

福島市立福島第一中学校
三年　奥川　玲乃

強くなりたい
何があっても前を向いて進めるように
強くなりたい
困っている人がいたら自らの力で
助けられるように
強くなりたい
「有難う」をきちんと伝えられるように

福島市立福島第二中学校
三年　七宮　舞

あの日奪われた
僕等の日常
何もかもが変わった
あの日から
二年過ぎた今も
心の傷は養えない
僕等の日常は変わった
それでも
変わらない何かもある
進もうか
みんなと手をつないで
変わらない絆を信じて

福島市立福島第二中学校
三年　菅野　亜美

生きている　震災の悲しみを乗り越えて
生きている　みんなで必死に支え合って
生きている　たくさんの笑顔の花を咲かせて
そう
福島の人々は
こんなにも力強く
生きている

いわき市立大野中学校
三年　北村　早

あの日
地球が脅威をみせた
あの日
たくさんの笑顔（いのち）が
奪われた
あの日
人々は助け合った
忘れずに生きてほしい
あの時の
思い
かけ合った言葉
支え合った生命を

いわき市立植田中学校
一年　澤田　望

何気ないことが幸せだなあって感じるんだ

ご飯を食べているとき
勉強しているとき
外で運動しているとき
笑顔があふれているとき
そして　福島で生きていると実感するとき

福島県立白河実業高等学校
二年　本城　希

子犬が生まれた
休日の我が家で
誰にも頼らず
ひとりで出産して
五匹の子犬が泣いた
母犬は子犬を包み込んだ
今まで甘えん坊だった母犬が
なんだかとても頼もしく見えた

福島県立白河実業高等学校
三年　佐藤　咲良

優しい人でした。
無口な人でした。
厳しさの中に愛情がある人でした。
大好きでした。
あの時感じた手の温もりは決して忘れません。
あなたが居てくれたから私は私で居れます。
沢山の感謝を込めてあなたに届きますように。

『いのちの詩・愛の詩』佳作

福島市立福島第一小学校
三年 佐藤 倖
五年 長沢 嘉人
五年 久間木孝成

桜の聖母学院小学校
五年 白鳥 優葉

本宮市立五百川小学校
三年 松岡 颯馬
六年 北澤 唯人

郡山市立金透小学校
六年 郡司 真花

郡山市立桃見台小学校
六年 横澤 佑李

郡山市立富田東小学校
五年 七海 瑠花
五年 千坂 真子

郡山市立富田西小学校
四年 柳沼 悠大
五年 川又悠太郎
六年 横井 太一

須賀川市立西袋第二小学校
二年 石川 知輝
五年 佐浦 将

須賀川市立柏城小学校
二年 角田 煌翔

須賀川市立大森小学校
六年 大野 晴奈

須賀川市立長沼東小学校
六年 松井 未咲

鏡石町立第二小学校
三年 丸山 颯
六年 根本 珠璃

天栄村立牧本小学校
四年 森 千慧
四年 吉田 理紗
四年 猪越 愛華

天栄村立湯本小学校
五年 星 集人

白河市立表郷小学校
一年 増子 詠美

西郷村立熊倉小学校
五年 砂塚 菜帆

矢吹町立三神小学校
六年 藤井優太郎

矢祭町立石井小学校
六年 菊池 涼美
六年 吉成 愛美

喜多方市立第一小学校
六年 伊関亜花梨
六年 遠藤 華凛

会津美里町立新鶴小学校
五年 齋藤 晟寿

新地町立福田小学校
四年 佐伯 彩花

福島市立福島第一中学校
二年 伊勢 海希
三年 佐藤 伽奈
三年 佐藤帆乃佳
三年 天野 実咲
三年 志賀杏友里
三年 柴田 彩花

福島市立福島第二中学校
三年　古田　雅大

田村市立常葉中学校
一年　今泉　英斗
一年　三浦　和

白河市立五箇中学校
三年　小針　彩乃

いわき市立藤間中学校
二年　会田　桃茄

いわき市立大野中学校
三年　本間　寛子

いわき市立湯本第一中学校
一年　末永　淳

学校法人松韻学園福島高等学校
二年　佐藤　達

福島県立白河実業高等学校
二年　星　真衣
三年　斉藤恵梨奈
三年　佐藤　咲良

『いのちの詩・愛の詩』入選

福島市立福島第四小学校
六年　佐藤　圭悟

二本松市立二本松南小学校
五年　服部　将成

本宮市立五百川小学校
三年　橋本沙耶香
六年　冨田　凌平

郡山市立日和田小学校
四年　滝田　愛奈

郡山市立片平小学校
四年　大山　結衣

郡山市立金透小学校
六年　芦田　峻

郡山市立富田東小学校
二年　遠藤　優斗
五年　佐藤　未来
五年　鴫原ちひろ
六年　緑川可弥子

郡山市立富田西小学校
四年　横井　春香
四年　宮城　卓矢
四年　中島　涼介
四年　小池　一陽
六年　村上　晴香
六年　秋山　優世

郡山市立大島小学校
六年　横田　凌央

須賀川市立西袋第二小学校
六年　森岡　紘也

須賀川市立稲田小学校
六年　土居　陽香
六年　小池　琉那

須賀川市立小塩江小学校
六年　大河内望未

須賀川市立柏城小学校
三年　本田　陽菜
六年　樽井　真広

須賀川市立長沼東小学校
六年　安藤　拓

須賀川市立白江小学校
四年　大竹　菜月

鏡石町立第二小学校
三年　大河原悠人
五年　石渕ひなた

天栄村立牧本小学校
四年　立石　彩夏
四年　村田　悠眞
四年　薄井　優輝

玉川村立川辺小学校
四年　野崎杏茉音
五年　関根　陽菜

白河市立表郷小学校
二年　緑川　叶夢

白河市立釜子小学校
四年　吉田　咲良
四年　秋山　聖哉

西郷村立熊倉小学校
五年　大川原　心
五年　藤井　惇至
五年　菊地　翔太

西郷村立小田倉小学校
五年　佐藤　好美

矢吹町立三神小学校
六年　蛭田　準平
六年　諸根ほのか

矢祭町立下関河内小学校
二年　小瀧　吏南

矢祭町立石井小学校
六年　藤井　拓人

猪苗代町立緑小学校
五年　日出山誠也

喜多方市立第一小学校
四年　五十嵐省吾
五年　岩渕　駿
六年　宮城　璃子
六年　小田切大也
六年　納屋　紅葉

会津美里町立新鶴小学校
三年　武藤　大晟
三年　長谷川幸正

檜枝岐村立檜枝岐小学校
六年　星　さくら

新地町立新地小学校
六年　佐々　瑞穂
六年　小野　未来

福島市立福島第一中学校
二年　菅野なな実
二年　伊藤　千紗
二年　小澤　露佳
三年　鈴木あまね
三年　柏倉　勇太
三年　菅野　颯
三年　佐藤　円佳
三年　渡辺　千尋

福島市立福島第二中学校
二年　鴇巣なつみ
三年　千葉　紗佳

国見町立県北中学校
三年　櫻井　駿太

西郷村立西郷第一中学校
一年　鈴木　優菜

いわき市立大野中学校
一年　木村　愛

二年　山田　晃由
二年　粟野　栞奈
三年　菜花　美咲

いわき市立湯本第一中学校
一年　青木和佳奈
二年　小林　岳明
二年　菜花　晴紀
二年　檜山かえで

いわき市立植田中学校
三年　小宅美祐里

福島県立白河実業高等学校
二年　浅道　結花
三年　緑川　真司
三年　佐川　莉菜

学校法人尚志学園尚志高等学校
二年　青木　友宏
二年　白石　眞美

学校法人昌平黌
東日本国際大学附属昌平高等学校
三年　本田　奈々

一〇〇文字提案

「あたたかい言葉のプレゼント」

「あたたかい言葉のプレゼント」
最優秀賞・優秀賞　受賞者一覧

最優秀賞

福島市立杉妻小学校
六年　大竹るりか

桜の聖母学院小学校
三年　橋本　結

郡山市立片平小学校
六年　佐藤　玲依

郡山市立富田西小学校
四年　水竹　純望

須賀川市立大森小学校
五年　関根　有沙

白河市立信夫第一小学校
六年　大竹　光穂

福島市立福島第一中学校
二年　仲江　悠平

福島県立白河実業高等学校
二年　鈴木　麻友

優秀賞

福島市立福島第一小学校
四年　立花　怜央
五年　菊野　伽羅

本宮市立五百川小学校
六年　武田　佳乃
六年　古宮　志帆

郡山市立桃見台小学校
一年　本田　陽南
五年　谷　優太

郡山市立富田東小学校
五年　今関　英志
六年　高野　実由
六年　海藤すみれ

郡山市立海老根小学校
六年　遠藤　竜成

鏡石町立第一小学校
五年　真壁　彩世
五年　飛澤　遥夏

鏡石町立第二小学校
四年　根本　敬介
五年　小板橋京介

天栄村立大里小学校
五年　大谷　美優

天栄村立湯本小学校
三年　星　妃咲

石川町立中谷第二小学校
五年　深谷　知沙

白河市立信夫第一小学校
六年　佐久間菜緒

矢吹町立三神小学校
六年　圓谷　舞雪

喜多方市立第一小学校
四年　片野　隆輝

相馬市立八幡小学校
六年　菊地　美羽

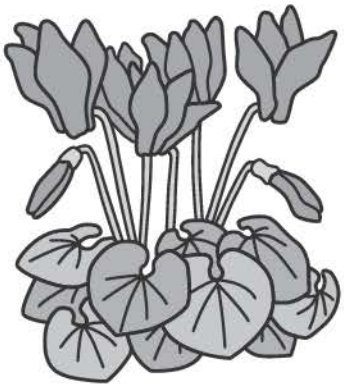
福島市立福島第一中学校
二年　吉田　晏
三年　新関有希葉
三年　佐藤潤之介

福島市立福島第二中学校
三年　鎌田　夏希

学校法人福島成蹊学園
福島成蹊中学校
一年　大橋　怜実

福島県立白河実業高等学校
二年　三輪　晴香
三年　鈴木　陽

福島県立猪苗代高等学校
三年　中村アイリン



『あたたかい言葉のプレゼント』最優秀賞

福島市立杉妻小学校　六年　**大竹るりか**

「ありがとう」
一言だけど、言われてうれしい言葉。
「ごめんね」
一言だけど、すごく大事な言葉。
一言でも大切な言葉。
はずかしがらずに言えればいいな。

桜の聖母学院小学校　三年　**橋本　結**

「おうちに生まれてきてくれてありがとう。」
お母さんは、よくわたしをだきしめて、この言葉を言ってくれます。
この言葉を聞くと心があったかくなってとってもあん心できます。
「わたしも生まれてきてしあわせです。」

郡山市立片平小学校　六年　**佐藤　玲依**

弟にはじめて言われた、「ありがとう。」
改めて気づいた。「ありがとう」のあたたかさ。
言った弟もうれしそう。
二才でも、わかるんだ。
私もこれからいしきして、ふやしていこう「ありがとう。」

郡山市立富田西小学校　四年　**水竹　純望**

三月に郡山へもどる時に、埼玉の小学校の友達からはげましの手紙をもらった。
特に心にのこったのは、「今までで一番の友達、あずみちゃんのえがおで福島はきっとかがやくよ」と書いてくれたことです。私、えがおでがんばろう。

須賀川市立大森小学校　五年　関根　有沙

昼休み一人で遊んでいる時に、言われた。
「いっしょに遊ぼう。」
心がポカポカした。とてもうれしかった。
私も、その人みたいに、言ってあげたいと思う。
私がもらった心のポカポカ、喜びを、みんなにも、分けてあげたい。

白河市立信夫第一小学校　六年　大竹　光穂

「泣いていいよ。その数だけ強くなれるから。」
それは私が泣いていた時に友達のお母さんがかけてくれた言葉だった。
でもそれは本当の事かもしれない。
今の私は昔の私にくらべればとても強くなっている気がするから。

福島市立福島第一中学校　二年　仲江　悠平

東日本大震災の時の事。水が止まってしまいました。そしていつも、近くの公園で水をもらいました。
その帰りに見つけた看板には、「こまった時はおたがいさま、水をあげます。」と書いてありました。その言葉がとてもうれしい。

福島県立白河実業高等学校　二年　鈴木　麻友

ごめんね　よりありがとうを
さようなら　よりまた明日を
頑張れ　より頑張ろうを
大嫌い　より大好きを
言葉があるから
嬉しくなれる
強くなれる
優しくなれる
言葉を大切に
「あたたかい言葉」を大切に

「あたたかい言葉のプレゼント」優秀賞

福島市立福島第一小学校
四年　立花　怜央

学校から帰ってマンションのエレベーターに乗ると、一人の男の子から、
「何階ですか。」
と声をかけてもらった。
ぼくは、他の人にそんな言葉を一回も使った事がなかった。とってもうれしかった。

福島市立福島第一小学校
五年　菊野　伽羅

ありがとう　またね
あたたかい言葉の数々が人を勇気づける
　勇気をもらい一日がたのしくなる。
　苦しい一日がうれしい一日に変わる。
たくさんのあたたかい言葉のプレゼントをありがとう

本宮市立五百川小学校
六年　武田　佳乃

進級してみんなすごく変わった。こまっている下級生にやさしく、
「どうしたの。」
と声をかけていた。私はどうだろう。勇気を出して言ってみよう、
「どうしたの。」って。
その一言できっと救われる人がいるのだから。

本宮市立五百川小学校
六年　古宮　志帆

私は、お母さんに勇気づけられたことが、何度かあります。朝、私のきげんが悪いときに、家を出る前に「笑顔で行きなよ。」と送り出してくれました。その時私は、目がじんわりとして、少し泣きそうになりました。

郡山市立桃見台小学校
一年　本田　陽南

「ありがとう」っていわれると、こころがあたたかくなります。いわれるとうれしいので、わたしは、いろんなひとに、「ありがとう」をいっています。たくさんのひとと、こころがつながるといいな。

郡山市立桃見台小学校
五年　谷　優太

「谷、また会おうぜ」避難先から帰る時、クラスメイトが習字にしてくれた言葉。後から先生に「会おうねより会おうぜの方が仲間の感じがする」とみんなで話し合って決めたと聞いた。ぼくはそれがとってもうれしかったんだ。

郡山市立富田東小学校
五年　今関　英志

ぼくは「いっしょにやろう」という言葉は大事だと思いました。それは、協力したりすると友情やきずながふかまって、さらに仲がよくなるからです。
　何かこまったときにも、いっしょにやって助け合いたいです。

郡山市立富田東小学校
六年　高野　実由

私が感動したあたたかい言葉は、テニスのシャラポア選手の「チェルノブイリ原発の近くに住み事故の年に生まれたけど、こんなに元気でいるので、福島のみなさんもきっと大丈夫です。」と言ってもらった事です。

郡山市立富田東小学校
六年　海藤すみれ

私はたくさん温かい言葉をもらっていますが、中でも勇気づけられたのは、お母さんの言葉でした。本当になやんでいた時、お母さんが「あなたはあなただから大丈夫。いつでも味方だよ。」と言ってくれて心が温かくなりました。

郡山市立海老根小学校
六年　遠藤　竜成

「どうぞ。」
家族で電車に乗っている時、高校生くらいの人がおばあちゃんに席をゆずっていた。
ぼくもおばあちゃんに「どうぞ。」と言ってみた。そしたら座ってくれた。
先にゆずっていた人のおかげでぼくも席をゆずられた。

鏡石町立第一小学校
五年　真壁　彩世

忘れてはいけないね。地震におびえて泣いていたあのころ。忘れていけないね。だれかの「大丈夫。」って言葉がどれだけ勇気をくれるか。
忘れてはいけないね。友だちや家族さえいれば、本当に大丈夫だってことを。

鏡石町立第一小学校
五年　飛澤　遥夏

おじいちゃんのたん生日会の日、私はお母さんとケーキを作った。みんなが全部きれいにたいらげて、「おいしかったよ。」と、言ってくれた。
おじいちゃんのためのケーキだったけど一番うれしかったのは私かな。

鏡石町立第二小学校
四年　根本　敬介

ぼくはお母さんが作ったおべんとうが大好きです。ぼくはそのおべんとうを食べた後、「おいしかったよ。ありがとう。」と言います。お母さんは「その言葉がうれしいよ。」と言います。二人ともあたたかい気持ちになります。

鏡石町立第二小学校
五年　小板橋京介

「おはよう。」って言うと、「おはよう。」って言う。「いってきます。」って言うと、「いってらっしゃい。」って言う。「ただいま。」って言うと、「お帰り。」って言う。「これはなんだろう。」これは、「愛情」っていうのかなあ。

天栄村立大里小学校
五年　大谷　美優

あの地震から一年後、広島の小学校から色紙が来た。
「応えんするよ」
「くじけないでがんばって」
私はそれをみて一人じゃないんだと思った。いつかみんなの勇気と笑顔の花をさかせたい。

天栄村立湯本小学校
三年　星　妃咲

学校の行事の時、お昼を食べる時間に、まだすわる場所が見つけられなかった友だちに「ここいいよ。」と私のとなりをかしてあげたら「やさしいね。」と言ってくれたことでお昼ごはんがとてもおいしくなりました。

石川町立中谷第二小学校
五年　深谷　知沙

ありがとう
おはよう
バイバイ
こんにちは
大好き
こっちにおいで
いっしょにいこう
人は、一つの言葉と
一つの笑顔で
あたたかくなれる。

白河市立信夫第一小学校
六年　佐久間菜緒

「馬鹿でもいい、馬鹿でもいいから健康でいるんだぞ。」
ひいじいちゃんが最後に言ってくれた一言。いつも思い出して、一生けん命。
勉強もがんばったら、それが恩返しになるかなって。

矢吹町立三神小学校
六年　圓谷　舞雪

私達は、つらい時も、悲しい時も、「あたたかい言葉」をかけ合い、生きている。震災の時もそうだった。
「がんばれ。」
「元気を出して。」
この言葉を聞き、人は勇気づけられる。そして自分も、
「ありがとう。」
と、お礼を言う。

喜多方市立第一小学校
四年　片野　隆輝

ぼくが今までに一番心にのこった言葉は、ぼくがちょっかいを出されている時に、クラスの友達が「やめろよ」と、ちょっかいを止めてくれた言葉です。
ぼくは、その言葉は、まだ心にのこっています。

相馬市立八幡小学校
六年　菊地　美羽

わたしが、震災にあって、とち木に行ったときに、おばさんに声をかけられて、
「どこの子？」
「相馬です。」
といったら、
「おたがいがんばろう。」
と言われて、とてもうれしかったです。

福島市立福島第一中学校
二年　吉田　晏

「福島から来て何が悪いの？自信をもって福島ナンバーで走りな！」私が自主避難した時、大家さんに言われた言葉だ。うそでも、こう言ってくれる人がいることが嬉しかった。

福島市立福島第一中学校
三年　新関有希葉

一人のおばあさんに出会いました。マンションの扉は重く、先に行って開けて待っていると、「ありがとう。」おじぎまでしている。開けただけなのに。だけど、あたたかい気持ちになっていた。

福島市立福島第一中学校
三年　佐藤潤之介

あの時、たくさんの大切な人々が亡くなった。
あの時、手をさしのべてくれるたくさんの人々と出会った。
あの時、海の向こうからたくさんの応援をもらった。
感激した。
人と人とはつながっている。笑顔という共通言語で。

福島市立福島第二中学校
三年　鎌田　夏希

福祉体験で老人ホームに行った。緊張したけど、一生懸命がんばった。
「笑顔がすてきだね。」
お年寄りからの一言に私はより笑顔になれた。

学校法人福島成蹊学園
福島成蹊中学校
一年　大橋　怜実

開けるたび
母の想いが届きます
今日も虹色お弁当
私の心が躍りだす
母の優しさしみ込んだ
少し甘めの玉子焼
どんなに辛い朝だって
おいしくなれとおまじない
母の作るあの味が
やっぱり一番おいしいな
いつも早起きありがとう

福島県立白河実業高等学校
二年　三輪　晴香

「ありがとう。」
誰もが言える最高の言葉
誰もが伝える大事な言葉
感謝して　感謝されて
心があたたまる言葉になる
たくさんの「ありがとう。」を届けよう

福島県立白河実業高等学校
三年　鈴木　陽

無口で人見知りな君が初めて手を振ってくれた時、私は嬉しかった。
次会った時は微笑んでくれた。
私が悲しんでいる時は「大丈夫」って言ってくれた。
たった三文字だけど、遠かった距離が三文字分だけ近づいた気がした。

福島県立猪苗代高等学校
三年　中村アイリン

私はＪＲＣ委員会の委員長をしていて、同じクラスのメンバーとぶつかることがありました。そんな時、一番の心の支えの人から「頑張りすぎんな」と言われて、悩み全てを忘れて号泣してしまいました。

『あたたかい言葉のプレゼント』佳作

福島市立福島第一小学校
二年　髙橋　佑凪
三年　大垣　遥珂
三年　渡辺　舞桜
四年　遠藤あゆみ

本宮市立五百川小学校
六年　山崎惠理香
六年　鈴木　雄貴
六年　菊地　悠斗

二本松市立原瀬小学校
五年　平栗　千風
六年　安田祥太朗

郡山市立安積第三小学校
五年　草野　愛琴

郡山市立桃見台小学校
二年　渡部　芽瑠

四年　栗田　美月
五年　大堀　花恋

郡山市立富田東小学校
二年　星　心菜
四年　江渕　有葵
五年　佐藤　朝美
六年　橋本菜々花

郡山市立富田西小学校
三年　平井　智明
四年　荒川　俊太

須賀川市立第一小学校
六年　矢吹　風真

須賀川市立柏城小学校
三年　黒津あさひ
四年　石橋　龍弥

須賀川市立白江小学校
六年　相樂　姫奈

鏡石町立第一小学校
二年　佐久間康世

玉川村立川辺小学校
三年　佐藤　悠太
五年　須藤　匠人

白河市立釜子小学校
四年　佐藤　直美
四年　小松　日和

西郷村立熊倉小学校
六年　吉田　未瑠

喜多方市立第一小学校
五年　鈴木　桃雛
五年　渡邊　玲羽

五年　眞田　啓嗣

会津美里町立新鶴小学校
二年　小林　陽向
五年　猪俣　愛莉

新地町立福田小学校
四年　大須賀萌恵

福島市立福島第一中学校
二年　宗像　瑠璃
二年　荒川　祐輔
三年　梅田　紗椰
三年　小松　まこ
三年　阿曽　愛花
三年　丹治　葵
三年　佐藤　小梅

福島市立福島第二中学校
三年　佐々木陽菜
三年　菊地　貴公

いわき市立大野中学校
二年　髙木　凌

いわき市立湯本第一中学校
二年　須田　真央
三年　中山　有稀

学校法人福島成蹊学園
福島成蹊高等学校
三年　井上　愛梨

福島県立白河実業高等学校
二年　七海　李奈

学校法人尚志学園尚志高等学校
三年　渡部　有紀

『あたたかい言葉のプレゼント』入選

福島市立福島第一小学校
四年　渡辺　彩音

福島市立東湯野小学校
六年　今野　希望

桜の聖母学院小学校
六年　古山絵理奈

本宮市立五百川小学校
五年　伊藤　広起

郡山市立日和田小学校
一年　須藤　小晴
四年　髙橋　綾音
五年　國分　美里

郡山市立片平小学校
六年　熊田　遥

郡山市立安積第三小学校
五年　柳沼　美月
六年　佐藤　大樹
六年　鈴木　岳土

郡山市立桃見台小学校
二年　瀧深　陸斗
五年　星　大樹
五年　吉間　史成
五年　武田　侑樹

郡山市立富田東小学校
六年　安田　茉子
六年　鈴木ひなた

郡山市立富田西小学校
三年　村上　真夢
六年　風間明日香
六年　山本　遥花

須賀川市立小塩江小学校
六年　塩田　理胡

須賀川市立柏城小学校
六年　北野寿美怜

須賀川市立大東小学校
六年　下村　舞華

須賀川市立長沼東小学校
六年　佐藤　春花

鏡石町立第一小学校
五年　深谷菜々花

鏡石町立第二小学校
四年　添田　実来
四年　遠藤　優作

玉川村立川辺小学校
三年　三瓶　貴翔

田村市立岩井沢小学校
六年　渡辺ゆうか

白河市立表郷小学校
四年　菊地　栞

白河市立釜子小学校
四年　我妻　愛唯

西郷村立熊倉小学校
五年　小堀　梨花
六年　赤穂　泰一

会津若松市立川南小学校
五年　酒井　秀明

喜多方市立第一小学校
三年　唐橋　優羽
六年　原　夏稀

会津美里町立新鶴小学校
二年　田崎　愛美
二年　新國　湖香
二年　上野　弘晃
五年　村松　朱莉

新地町立福田小学校
五年　林　風花
六年　大須賀愛依

福島市立福島第一中学校
二年　佐藤優之介
三年　水田　裕大
三年　山田今日子
三年　松原　未有
三年　鈴木　晴佳
三年　由井　夏芽
三年　矢吹　怜於
三年　多田有季恵
三年　松崎　晃大
三年　片平　怜

福島市立福島第二中学校
一年　樺元　咲羅

西郷村立西郷第一中学校
一年　花里　莉子
一年　植田　朱莉
一年　野田　優香

いわき市立大野中学校
二年　鈴木　歩

いわき市立湯本第一中学校
三年　数馬　猛

福島県立白河実業高等学校
二年　黒羽　瑞紀
二年　鈴木　奈々
二年　緑川　千夏

福島県立田村高等学校
一年　黒田　夏希

学校法人尚志学園尚志高等学校
二年　佐藤　千晶

一〇〇文字提案

「わたしの夢・福島のみらい」

「わたしの夢・福島のみらい」最優秀賞・優秀賞 受賞者一覧

最優秀賞

福島市立福島第一小学校
四年 伊藤 瑛士

福島市立福島第四小学校
六年 宮林 美保

桜の聖母学院小学校
五年 佐藤 桃香

本宮市立五百川小学校
六年 山崎惠理香

郡山市立日和田小学校
五年 福本 好晟
六年 二階堂瑠那

郡山市立片平小学校
五年 酒井 智哉

郡山市立桃見台小学校
二年 櫻田 千尋

郡山市立富田東小学校
四年 高野 佑菜
四年 千葉 彩乃

郡山市立富田西小学校
四年 安田 結人

須賀川市立第一小学校
五年 武藤 潤哉

須賀川市立大森小学校
五年 関根 愛理

玉川村立川辺小学校
四年 曲山 佳那

矢祭町立石井小学校
五年 菊池 奏穂

会津若松市立川南小学校
四年 栗城 明梨

学校法人福島成蹊学園
福島成蹊中学校
一年 石黒 美結
一年 渡邊 紗羽

いわき市立湯本第一中学校
二年 髙田 晴花
三年 西山 葉南

福島県立福島高等学校
二年 日下 輔

福島県立郡山北工業高等学校
三年 佐藤 聖

優秀賞

福島市立福島第一小学校
一年 関 紅彩
二年 髙橋 佑凪
三年 角田 鷹也
五年 阿部 優月
六年 小峯 百恵

桜の聖母学院小学校
二年 林 夢実
五年 美濃又萌香

伊達市立山舟生小学校
五年 八巻 歩真

二本松市立原瀬小学校
五年 五十嵐衣里
五年 平栗 千風

本宮市立五百川小学校
五年 渡邊 悠斗
六年 根本 裕吾
六年 遠藤 綾大

郡山市立富田東小学校
六年 青木 優
六年 柳田 美羽

郡山市立富田西小学校
二年 荒明なな葉
四年 野地 朋香
五年 長尾 優夏

郡山市立大島小学校
六年 中川 莉緒
六年 小林 星来

須賀川市立第一小学校
五年 斉藤 遥
五年 渡邊 瑞希
六年 望月 彩花

須賀川市立西袋第二小学校
六年 小林 利瑞

須賀川市立稲田小学校
六年 阿部梨々佳
六年 矢内 天輝
六年 高田 歩美

須賀川市立小塩江小学校
六年 橋本 実幸

須賀川市立柏城小学校
六年 二瓶 航真

須賀川市立大森小学校
五年 須釜菜々子

鏡石町立第一小学校
五年 中村 伊織
六年 今泉 瑞基

鏡石町立第二小学校
三年 大河原想士
四年 添田 葉月
五年 車田 瑠衣

天栄村立大里小学校
五年 山田 奏羽
六年 金子 音羽

天栄村立牧本小学校
三年 大須賀幸生

石川町立山形小学校
二年 高原 聖矢

玉川村立川辺小学校
五年 須藤ひかる
六年 野崎 未有

田村市立古道小学校
六年 門馬杏田美

白河市立関辺小学校
六年 松原ことみ
六年 鈴木 萌加

西郷村立熊倉小学校
五年 小針 一真

矢吹町立三神小学校
六年 小林 直未
六年 諸根ほのか
六年 堀井 茜

矢祭町立下関河内小学校
六年 立花 優実
六年 寺島 楓

矢祭町立石井小学校
五年 渡邊 柊翔

会津若松市立城北小学校
五年 菅家 夢奈
五年 小林 碧

会津若松市立川南小学校
六年 新井田 翔

喜多方市立第一小学校
三年 白井 初音
五年 吉田 侑可

檜枝岐村立檜枝岐小学校
六年 平野 猛

新地町立新地小学校
二年 森 美咲
三年 藤原 未空
三年 寺島 詩織
三年 谷 幸人
五年 中山 嘉門

相馬市立八幡小学校
六年 愛澤 美琴
六年 新開 美咲

福島市立福島第一中学校
三年 三浦 千陽

福島市立福島第二中学校
一年 木下 侑香

西郷村立西郷第一中学校
一年 渡辺 千尋
一年 佐藤 陸

いわき市立大野中学校
二年 鈴木 麻倫
三年 新妻 浩樹
三年 根本 ゆう

いわき市立内郷第二中学校
二年 牛久穂奈美

いわき市立湯本第一中学校
一年 大和田美結

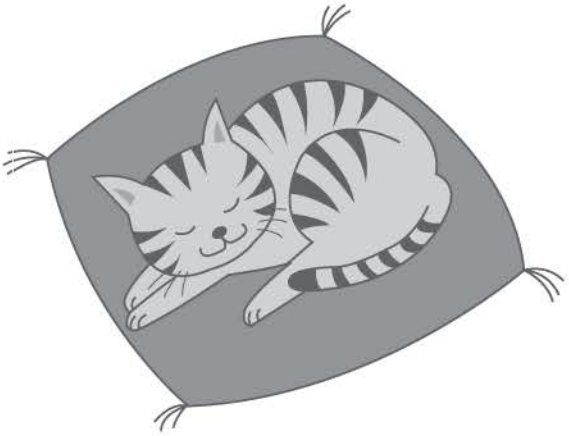
いわき市立植田中学校
一年 蛭田 望友

福島県立郡山商業高等学校
三年 熊坂 佳樹

福島県立須賀川高等学校
二年 安藤 摩耶

福島県立白河実業高等学校
二年 延原 圭吾

学校法人尚志学園
尚志高等学校
二年 増子 晴美
三年 桑名 里佳



『わたしの夢・福島のみらい』最優秀賞

福島市立福島第一小学校　四年　伊藤　瑛士

福島はひろいよ
山も海もあるよ
夏は暑くて、冬はいっぱい雪がふるよ
大きな地震でパズルがばらばらになっちゃったよ
みんなで福島のパズルをなおそうよ
ぼくの大好きな福島に

福島市立福島第四小学校　六年　宮林　美保

大震災から二年後の去年。テレビに、避難する前の小学校の同級生が出ていた。遠足の集合写真を胸にかかえて……テレビから目が離せなかった。
また会いたいな、友達に。また住みたいな、故郷に。
これがわたしの夢。

桜の聖母学院小学校　五年　佐藤　桃香

わたしは、助産師になるのが夢です。赤ちゃんが生まれるということは、とてもめでたいことです。家族も周りの方々も喜んでくれます。そうして新しい命が福島に誕生し、赤ちゃんの笑顔で多くの幸せをふやしたいです。

本宮市立五百川小学校　六年　山崎恵理香

私の夢は管理栄養士になって、地元の食材を使った料理を考えることです。今は、地元の食材で食べられないものもあるけれど、いつか、食べられるようになった時、地元の食材を使いおいしい料理を考えたいです。

郡山市立日和田小学校　五年　**福本　好晟**

津軽三味線
あの力強い音が　ぼくの心に鳴りひびく
そのひびきをぼくが福島のみんなの心にひびかせたい！そして
感動と元気をあたえたい
ぼくの夢は福島と共に大きく前へ進んでいく

郡山市立日和田小学校　六年　**二階堂瑠那**

私の夢は『科学者。』
自然のことを研究したと思ってる。
虫のこと、草のこと、
花のこと、木のこと、
そして、放射能のこと。
これからの未来は不安がいっぱいだけど、
一生懸命がんばろう。

郡山市立片平小学校　五年　**酒井　智哉**

じいちゃんのお米は、とてもおいしい。自慢のお米。だけど、震災後に作ったお米は、心配で県外産のお米をとりよせて。食べていた。おいしく安心して食べられるお米を作ってね。ぼくも手伝うからね。

郡山市立桃見台小学校　二年　**櫻田　千尋**

わたしのおとうさんは、しゅみでパンをつくります。わたしもてつだってたのしいです。大きくなったら、ふくしまで、おとうさんとパンやさんをしたいです。おいしくてあんしんしてたべれるパンをつくりたいです。

郡山市立富田東小学校　四年　**高野　佑菜**

わたしのゆめは、小説家になり、福島県を題材にして、福島のすばらしさを伝えていきたいです。たくさんの人に福島に行ってみたい、すんでみたいと思われるような本を作り福島県をアピールしていきたいと思います。

郡山市立富田東小学校　四年　**千葉　彩乃**

みらいの福島は天国よりもあかるくて、世界で一番笑顔な国。
みんな、みんな幸せで、悲しいことがあっても、のりこえる――。
そーんな、本当の「福」の「島」になってほしい。それでこそ、「福島」だから。

郡山市立富田西小学校　四年　**安田　結人**

ぼくの夢は、農ぎょうをすることです。なぜかと言うと、東日本大しんさいで食料が少なくなってしまったからです。みんなが、安心して、食べれるようにお米や野菜を作りたいです。お父さんといっしょにがんばります。

須賀川市立第一小学校　五年　**武藤　潤哉**

東日本大しん災から約二年。ニュースなどを見て、もうこれはだめだとばかり思っていました。しかしなお、人々は協力し、助け合っていました。ぼくもそんなおとなになりたいと思いました。それがぼくの夢です。

須賀川市立大森小学校　五年　**関根　愛理**

私は、げき団に入っていろいろな役を演じることが夢です。げき団に入ったら、福島県内のいろいろな所へ行って、みんなの笑顔が見たいです。
福島の人を笑顔でいっぱいにするのが私の夢なのです。

玉川村立川辺小学校　四年　**曲山　佳那**

大きなきずを
負った福島
でもその一方で
希望を手に入れた
福島がある
どんなこんなんでも
どんなきずを
負ってでも
福島は明日へ
進みつづける

矢祭町立石井小学校　五年　**菊池　奏穂**

私の夢はデザイナー。その夢とともに福島の未来をずっとみていたい。
いつかデザイナーになって福島の未来をデザインしていきたい。人々の服や森や家や町を。私は福島の未来をデザインする。

会津若松市立川南小学校　四年　**栗城　明梨**

わたしの夢
人の役に立ちたい
震災　原発事故
一生忘れない
多くの人がなくなった
天国で元気にしてる？
わたしは人がこまっている時
その人にそっと
よりそってあげたい

学校法人福島成蹊学園福島成蹊中学校　一年　**石黒　美結**

自然豊で自然を大切にする街
人のつながりを大切にする街
自然と一緒に暮らせる街
皆が楽しく健やかに過ごせる街

全部当たり前だけど難しいこと
だから皆でちからを合わせる

まずは自分から
動き出そう

学校法人福島成蹊学園福島成蹊中学校　一年　**渡邊　紗羽**

福島で生まれ
福島で結婚し
福島で赤ちゃんを産み
福島で年をとり
福島で病気になり
福島で死ぬ
私のおばあちゃも
お母さんも
子どもも
孫も
ずっと
ずっと
福島で

いわき市立湯本第一中学校　二年　**髙田　晴花**

私の夢は早く南相馬に帰ることです。こちらにいくら慣れようとあちらに戻りたいという気持ちはまったく変わりません。日に日に気持ちはましていきます。私はあちらに一日でも早くあちらに戻って友達にあいたいです。

いわき市立湯本第一中学校 三年 西山 葉南

あの日から、フクシマと呼ばれ、人は住めなくなり、桃や魚が売れなくなってしまった福島。
でも、地震を体験した私たちは、この出来事を後世にありのまま伝えることができる。
それが、被災者の使命であり、特権。

福島県立福島高等学校 二年 日下 輔

僕らが叶える
福島復興という県民の夢を

僕らがつくる
みんなが笑顔でいる
福島の未来を

僕らがなってやる
福島復興の立役者に

今、力を見せつける時

福島県立郡山北工業高等学校 三年 佐藤 聖

私は、委員会活動を通して、多くの人に支えられていることに気づいた。必死に誰かを支えている人たちは、とてもカッコよく輝いていた。私も誰かを全力で支えられる役に立つ人間になりたい。これが私の夢だ。

『わたしの夢・福島のみらい』優秀賞

福島市立福島第一小学校
一年　関　紅彩

わたしは、えいごのべんきょうをしています。
それは、びょういんのおいしゃさんになりたいからです。だってやさしいんだもん。

福島市立福島第一小学校
二年　髙橋　佑凪

わたしは、大きくなったらけいさつかんになりたいです。
けいさつかんになって、わるい人をつかまえたり、こまっている人をたすけたいです。
子どもに、ゆめをあたえられる、けいさつかんになりたいです。

福島市立福島第一小学校
三年　角田　鷹也

ぼくのお父さんは、バーテンダーです。ネクタイをビシッとしめてとてもかっこいいです。ぼくは、お父さんのお店のにおいも感じもなぜか好きです。大好きな町で大好きなお父さんと一緒にはたらくのがぼくの夢です。

福島市立福島第一小学校
五年　阿部　優月

原発問題でたくさんの子どもたちが避難していった。生活できない地域もある中、夏がやってきた。ほたるがひかりだした。将来は、子どもたちや虫や動物たちがかけ回る自然にあふれた福島になるように私もがんばりたい。

福島市立福島第一小学校
六年　小峯　百恵

私の夢。
それは保育士。
私はみんなの笑顔が大好き。みんなが笑うと私も自然と笑顔になる。私が保育士になればさまざまな理由できずついた子供が幸せになれるかもしれない。私は悲しい子を幸せにする。

桜の聖母学院小学校
二年　林　夢実

わたしのゆめは、お花やさんです。
わたしはきれいなお花がすきだからです。
ふくしまはしんさいがおこってから、くろうしている人がいます。
わたしがお花やさんになってくろうしている人たちを元気にしてあげたいです。

桜の聖母学院小学校
五年　美濃又萌香

震災は、福島からたくさんのものをうばっていった。
ある人は家を。
ある人は家族を。
でも、泣いても元通りにはならない。
だから、笑顔でいよう。
福島を、本当に福があるところにしたい。

伊達市立山舟生小学校
五年　八巻　歩真

がんばれ福島！
みんなが応えんしてるよ。福島なら必ずできるよ。福島は緑がいっぱいになっているよ。
みんなの顔がニコニコしてみんなが仲良くなってそれが福島だよ。
福島は良くなるって信じているよ。

二本松市立原瀬小学校
五年　五十嵐衣里

今回の震災で、私の夢は変わった。デザイナーから、かんごふに。震災で亡くなった人を思うとつらい。それからは、かんごふになると、決心した。そのために、勉強をがんばり、将来に向けて考えようと思う。

二本松市立原瀬小学校
五年　平栗　千風

私の夢は、「こまっている人を助ける」ことです。震災の時、テレビで、高校生がボランティア活動として活動している姿がとてもかっこよく感じ、「私もなりたい」と思いました。この夢に向けて今からがんばります。

本宮市立五百川小学校
五年　渡邉　悠斗

ぼくの夢は、おすし屋さんになることです。あの大しん災で、みんなの笑顔がなくなってしまったので、おいしいおすしをにぎって、食べてもらいたいです。福島も元に戻って福島に笑顔がおとずれるといいなあと思いました。

本宮市立五百川小学校
六年　根本　裕吾

ぼくは、福島の野菜を全国の人に食べもらえるみらいにしたいです。

原発事故で、福島の米や野菜を食べてもらえなくなったので、福島の野菜を自分たちもいっぱい食べて安全な野菜だと伝えたいです。

本宮市立五百川小学校
六年　遠藤　綾大

ぼくの夢は、建築家になることです。その理由は震災の影きょうで家を失った人に笑顔でぼくの作る家に入ってほしいからです。

福島の未来はいろんな人が支えているので、その期待に応えられる福島にしたいです。

郡山市立富田東小学校
六年　青木　優

わたしの夢は管制官
あの大きな飛行機に
空のじょうきょうを
指示する仕事
上手に指示を出して
すてきな旅を
プレゼントしたいなぁ

郡山市立富田東小学校
六年　柳田　美羽

放射能が少なければ
みんな家に帰れる
友達が転校しなくなる
悲しみが消える
幼児から高齢者まで
みんな外で
何も気にせず遊べる
笑顔が増える
そんな風に福島が
早くなりますように

郡山市立富田西小学校
二年　荒明なな葉

わたしは、大きくなったらケーキやさんになりたいです。ふくしまの、おいしいフルーツをたくさんつかって、せかい一のスイーツをつくりたいです。そして、たべた人がみんなしあわせになることがわたしのゆめです。

郡山市立富田西小学校
四年 野地 朋香

わたしは、しん災のニュースで保育士の先生が小さい子供達をおぶって津波からにげるのを見ました。
わたしも大きくなったら、小さい子供達を守れる保育士になりたいと思いました。

郡山市立富田西小学校
五年 長尾 優夏

わたしの夢は、かいご士になることです。地震でたくさんの人が被害を受けました。中でも、お年よりが一人で、仮設住宅に入っている姿を見て、わたしも、力になってあげたいなと思い、かいご士になろうと思いました。

郡山市立大島小学校
六年 中川 莉緒

ふくしまのこどもは
みんな元気だよ
ふくしまのたべものは
みんな安全だよ
ふくしまのみらいは
ずっと明るいよ
ふくしまが、そんなみらいになってほしいな。
ふくしまが、元気になってほしいな。

郡山市立大島小学校
六年 小林 星来

震災で、食器などが割れ、いろんな物が使えなく不便だった。でも、ふとテレビを見るとコンサートをやっていた。勇気がわいた。不便でも、悲しくても、人を勇気づけるフルート奏者になりたいと思った。

須賀川市立第一小学校
五年 斉藤 遥

私の夢は、ざっか屋さんになることです。世界中のかわいいざっかを集めて、未来の福島の子どもたちに、プレゼントしたいです。
私のように、もう二度と、こわい思いや悲しい思いをしてほしくないからです。

須賀川市立第一小学校
五年 渡邉 瑞希

ぼくの夢は、とてもえらい人になって、ぼくのふる里の福島をよりよい県にしたいです。福島は、二〇一一年三月十一日に東日本大しん災があり多くの町が被災を受け、その時ぼくは福島の未来はぼく達で守ると決めました。

須賀川市立第一小学校
六年 望月 彩花

私は、将来ピアニストになりたいです。今、私はピアノをならっています。ピアノは、いつも私を元気づけてくれたり勇気づけてくれます。そのピアノで、大切な須賀川の仲間を元気づけ勇気づけたいからです。がんばるぞ。

須賀川市立西袋第二小学校
六年 小林 利瑞

あの日から二年
どうしても確かめたい
ねえどうしてわたしたちのことをみすてるの？
ねえどうして復興が進まないの？
このとうとい命を、未来への人たちを
うばっていくの？

須賀川市立稲田小学校
六年　阿部梨々佳

私の夢はアナウンサーです。もし夢がかなったら、未来の福島県について放送したいです。未来の福島県は、ひ難している人もいなくて、平和で明るい笑顔がたくさんあふれている福島になっていると思います。

須賀川市立稲田小学校
六年　矢内　天輝

ぼくの夢は、福島県で医者になること。そして、福島の人びとを助け、福島の未来をよくしたいと考えています。そのために、今は勉強時間を増やしがんばっています。夢をかなえることが、福島の未来につながるように。

須賀川市立稲田小学校
六年　高田　歩美

私の夢は、農家になって、福島の人達や日本中の人達に私の作った野菜を食べてもらって、そして笑顔になってもらうことです。

だから野菜のことをしっかり覚えるために、勉強時間を増やして、日本の食卓を支えたい。

須賀川市立小塩江小学校
六年　橋本　実幸

わたしは、福島のみらいはこうあってほしいです。人々が自分だけでなく他の人に手をさしのべ、「げんぱつなんて。」と笑って言えるようになってほしいです。

地震で家族を亡くした人も自信を取りもどしてほしいです。

須賀川市立柏城小学校
六年　二瓶　航真

ぼくは自分の夢よりも福島のみらいのほうがきになります。しんさいがあってほうしゃせんやつなみ、いろいろな人が死んでニュースでながれて、しょうらいはいろいろな人をたすけられる人間になりたいとおもっています。

須賀川市立大森小学校
五年　須釜菜々子

私の夢は優しい保育士さんになって、福島の子ども達をたくましく元気な福島っ子に育てることです。子どもの数はどんどん減ってきているけれど、私は勉強をがんばって、りっぱな保育士さんになりたいです。

鏡石町立第一小学校
五年　中村　伊織

校舎がこわれたけれど、スポーツフェスティバルができた。

校舎がこわれたけれど、プールに入って泳げた。

校舎がこわれたけれど、みんながいれば、学校なのだと思った。

となりの学校に引っこしても学校なんだと思った。

鏡石町立第一小学校
六年　今泉　瑞基

届けたい。忘れかけた笑顔を。

届けたい。大好きな人を失った人達へ希望を。

届けたい。応えんをしてくれる人達へ感謝の気持ちを。

ぼくは届けたい。

鏡石町立第二小学校
三年　大河原想士

ぼくの夢、それは眼科の先生になる事です。
どうしてかというと、もう治らないと言われていたぼくの目を治ると言ってくれた先生に出会えてとてもうれしかったからです。
ぼくもいつか、そんな先生になりたいです。

鏡石町立第二小学校
四年　添田　葉月

私はお花やさんになりたいです。
お母さんがお花を見ておこる人はいないよ。と言いました。
だからお花をたくさんかざって、地しんでいっぱい泣いた人達を、今度はえ顔でいっぱいにしてあげたいと思います。

鏡石町立第二小学校
五年　車田　瑠衣

わたしの夢は、保育園の先生です。
言葉を教えたり、ダメな事をした時に、怒って、しつけます。親がいない人も、あずかったりしたいです。
福島の子どもたちが、元気に、えがおをいっぱいな子どもたちにしてみせます。

天栄村立大里小学校
五年　山田　奏羽

私はかんご士になりたいです。東日本大震災でたくさんの被害と悲しみを受けた人たちの所に行って多くの喜びと笑顔の花をさかせたいと思います。そして、福島の未来を明るくしていきたいです。

天栄村立大里小学校
六年　金子　音羽

私は太鼓をやっています。震災前は双葉町で行われていた大会に出場していましたが、現在は双葉町には行けません。しかし双葉町の太鼓をたたいていた人達がひ難先でも太鼓をたたいているので、明るい福島がもどります。

天栄村立牧本小学校
三年　大須賀幸生

ぼくの夢は、天栄村を守ることです。
こまっている人をたすけます。みんながえ顔で生かつできる村を作ります。
ぼくは、次の次の村長になっていると思います。

石川町立山形小学校
二年　高原　聖矢

ぼくのゆめは大きくなったら、ぼくのじいちゃんみたいになることです。
じいちゃんは山しごとがじょうずです。
ぼくもじいちゃんのようにやさいやこめをそだて、えいようまんてんのものをとどけます。

玉川村立川辺小学校
五年　須藤ひかる

私の夢は、修道女です。
ただ、賛美歌を歌いたいのではありません。
私の目的は、神の教えではなく、まずしく、困っている人を助け、なぐさめ、笑顔にさせること、世界を平等にするのが目的です。

玉川村立川辺小学校
六年　野崎　未有

私の夢は、日本に限らず、世界が平和になることです。
今、世界の中で、戦争をしているところがいくつかあります。ぎせいになるのは、いつも子どもです。子どものためにも、世界から戦争がなくなって平和になってほしい。

田村市立古道小学校
六年　門馬杏由美

私たちを応援してくれてありがとうございます。
私のしょう来の夢は小説家です。小説家になって福島の思いや、福島のがんばりなどの本を書きたいと思っています。
これからも私は、がんばります。

白河市立関辺小学校
六年　松原ことみ

私の夢は、外国で仕事をすることです。
世界にも、大震災の被害から復興に向けて頑張る福島の姿を伝え、同じように苦しみの中で沈んでいる国の人に復興の力になりたいです。
福島の未来は、世界の幸福だと思います。

白河市立関辺小学校
六年　鈴木　萌加

私の夢は、自衛隊に入ることです。
大震災では、命をかけて、私達を助けてくださいました。その全力の姿を見て、私も助けられる人になりたいと思いました。
大好きな福島を、美しい日本をささえていきたいです。

西郷村立熊倉小学校
五年　小針　一真

ぼくたちの福島県はこれからどうなっていくのかわかりません。でも、え顔があふれ、「ありがとう。」「ごめんなさい。」と、気もちよく言え、仲間がいる。震災がなかったように、楽しくくらせる。
そんな福島県にしたい。

矢吹町立三神小学校
六年　小林　直未

わたしの夢はまだ決まっていないけど、みんなの役に立つ存在になりたいと思っている。
たとえみんなから見えなくても、たくさんの人に役に立っていなくても、「ありがとう」と言ってもらえる存在になりたい。

矢吹町立三神小学校
六年　諸根ほのか

わたしの夢は、もう一度、福島を元気な所にすること。
あの震災で、人々からいろいろなものが失われた。だから、みんなでつながって、みんなでいっしょに生きていく。
もう、「福島だから…」なんて言わせないから。

矢吹町立三神小学校
六年　堀井　茜

津波で被災した人達。多くの人は、花を見て希望を持ったり、勇気をもらったりして、絆が生まれました。
わたしの夢は、花屋になることです。未来の福島を花でいっぱいにして、みんなを笑顔で元気にしたいです。

矢祭町立下関河内小学校
六年 立花 優実

わたしの夢は、画家になることです。そして、いろいろな絵をたくさんかき、福島が一日も早く復興し、福島の人が少しでも元気になって、がんばってもらえるような絵をかく画家になれるように、がんばっていきます。

矢祭町立下関河内小学校
六年 寺島 楓

私の将来の夢は保育園の先生です。

福島県の子どもたちは東日本大震災で仲良しの友だちとわかれて悲しい思いをしている子たちがいます。なので先生になったら悲しい思いをしている子どもたちを元気にさせてあげたいです。

矢祭町立石井小学校
五年 渡邉 柊翔

ぼくの夢はけいさつ官になること。かっこいい、みんなの命を守るけいさつ官になる。

そのために、いっぱい勉強する。そして合格して、人を助けたいと思う。あの日、ぼくたちのために命がけで守ってくれた人みたいに。

会津若松市立城北小学校
五年 菅家 夢奈

私の夢は、教しになることです。

今の福島は、大震災、原発事故がおきてから少し希望、夢が足りないように感じます。そんな福島に希望、夢を発信していけるような教しになりたいです。そして明るい福島にしたいです。

会津若松市立城北小学校
五年 小林 碧

プロサックス奏者になり、世界中の人と交流し、音楽で世界をつなぎたい。争いをやめ平和になってほしい。

そう思っている。これからの福島も、音楽でつながってほしい。みんなを勇気づけたい。

私は、そう思っている。

会津若松市立川南小学校
六年 新井田 翔

ぼくの夢は、おじいちゃんのあとをついで、農業をすることです。米や野菜を一生けんめい作っていきたいです。

おじいちゃんが、今までしていた農業をぼくもがんばって手伝っています。ぼくは、夢をあきらめません。

喜多方市立第一小学校
三年 白井 初音

わたしのあこがれるふく島のゆめがあります。

一つ目はあん全という事です。二つ目は、たすけ合うという事です。三つ目は「ありがとう」をたくさんつかうという事です。

みんなでえ顔の花をさかせたいなと思います。

喜多方市立第一小学校
五年 吉田 侑可

二〇一一年、じしんが起きました。

福島は家がつぶれたり、町がなくなったりしました。

豊かでえがおあふれる福島にするためには私じしんが人に優しくしなければならないと思いました。

檜枝岐村立檜枝岐小学校
六年　平野　猛

近年、尾瀬がシカにあらされている。だから、夜通しで巡視して、シカの出現をおさえている。
自然を守ることは、地球を守ることだ。そして、動物を守ることも、地球を守ることだ。
だから、地球上の全てが共存できる未来を、ぼくはつくりたい。

新地町立新地小学校
二年　森　美咲

わたしのゆめは、ほいくしょの先生になることです。
そのわけは、かわいい子どもたちがいるからです。
もしなったら、子どもたちと、いっぱいあそんだり、うたをうたったりしたいです。

新地町立新地小学校
三年　藤原　未空

わたしは、しょうらいかんごしに、なりたいです。そのわけは、いろいろな人を、たすけたいからです。わたしの、お母さん、お父さんもかんごしです。かっこいいと思います。かんごしになれるように、がんばりたいです。

新地町立新地小学校
三年　寺島　詩織

わたしのゆめは、犬のくん練しになることです。くん練しになって、東日本大しんさいのようなことが起きた時は、たくさんの人たちを助けてあげたいと思います。きゅうじょ犬といっしょになって人の役にたちたいです。

新地町立新地小学校
三年　谷　幸人

ぼくのゆめは、お母さんとお父さんと同じパーマ屋さんになることです。お父さんとお母さんといっしょにしごとができたらうれしいな。
お父さんとお母さんが年をとったら、ぼくがかわりにしごとをがんばりたいです。

新地町立新地小学校
五年　中山　嘉門

ぼくは震災で新地のいろんな人が被害をうけて残念だと思っていた。
でも、お姉ちゃんのおなかに赤ちゃんがいた。生まれたので見にいきました。名前は結羽。生まれてくれてありがとう。いっしょに福島県でがんばろうね。

相馬市立八幡小学校
六年　愛澤　美琴

わたしのゆめは、保育士さんになることです。
なぜなら、震災で小さな子ども達が亡くなったので保育士さんになって守りたいからです。
福島の未来は、子どもが安全に暮らせる町にしたいからです。

相馬市立八幡小学校
六年　新開　美咲

わたしの夢は、幼ち園の先生です。なぜなら小さい子が好きだからというのもありますが、福島の未来のためにみんなを明るくしたいと思うからです。
そのために自分の夢に向かって明るく前を向いてがんばりたいです。

福島市立福島第一中学校
三年 三浦 千陽

震災が起きたことを、恨んでも意味がない
今するべきことは、前に進むこと
笑顔を増やすこと
高い壁かもしれないが
その向こう側には
笑顔、活気、明るい声であふれた
福島が
きっと待っている

福島市立福島第二中学校
一年 木下 侑香

私の夢は、大好きな町「福島」でカフェを経営することだ。福島には、豊な自然とおいしい食材がたくさんあることを世界中の人に知ってほしい。
私は福島の食材を使って、皆が笑顔になれる料理を作りたい。

西郷村立西郷第一中学校
一年 渡辺 千尋

私の夢は震災でなりたいと強まりました。私の夢は警察犬の訓練士です。
震災地で人や物を探す時に犬とパートナーが活躍していたのが夢が強まった理由です。
たくさんの人を助けて人の役にたてる人になりたいです。

西郷村立西郷第一中学校
一年 佐藤 陸

ぼくたちの故郷福島県は東日本大震災で大変なことになってしまいました。しかし、ぼくはぼくでがんばって生きたいです。
ぼくは、海上保安庁に入って、多くの人々を救えるような強い男になれるようにがんばります。

いわき市立大野中学校
二年 鈴木 麻倫

私は、東日本大震災の後のテレビで、自衛隊の人たちが復興に向けて頑張っている姿見ました。その瞬間から、私も自衛隊になって福島の未来に向けて大きくこうけんしたいと思いました。

いわき市立大野中学校
三年 新妻 浩樹

人を助ける仕事に就きたい。あの日、原発従業員が必死で作業していた。自衛隊が寝る間をおしんで取り組んでくれた。
私も、誰かのために、本気になって仕事をする、人間になりたい。いや必ずなる。

いわき市立大野中学校
三年 根本 ゆう

私の夢は助産師になることです。東日本大震災でたくさんの命が一瞬で消え去り、みんなが悲しい思いをしました。
これからの福島のために、新しい命の誕生に関わっていく人生を、送っていきたいです。

いわき市立内郷第二中学校
二年 牛久穂奈美

私は、父の影響で消防士になりたいと思っていましたが、震災をきっかけに多くの命を救った消防士や消防団達の活躍を見てさらに思いが強まりました。
いつか消防士になって、沢山の命を救いたいです。

いわき市立湯本第一中学校
一年　大和田美結

一瞬で町が変わった
あの日から
みんなで助け合った
あの日から
福島のみらい変えるとき
幸福の福に島だから
みらいを福に変え
助け合おうじゃないか
私達の福島を

福島県立郡山商業高等学校
三年　熊坂　佳樹

私の夢は警察官になり地域の人々の役に立つことである。東日本大震災により福島は大きな被害を受け今もなおその被害は続いている。
私は、その福島を一刻も早く復興し、逆に他の県の支援が出来る県にしたい。

福島県立白河実業高等学校
二年　延原　圭吾

この災害で
「一人」でいられる者など居ただろうか
人はあの時あらゆる場所で
人との「つながり」を感じただろう
自分も誰かに貢献し
人と人を「つなげる」事をしていきたい

学校法人尚志学園尚志高等学校
三年　桑名　里佳

わたしの夢は、外国の貧しい人々の支援をすることです。現在の日本は、他の国に比べて裕福です。私は、貧しい国へ行って技術を発展させたいです。そして、少しでも貧しい国の社会の進歩に貢献していきたいです。

いわき市立植田中学校
一年　蛭田　望友

私の夢は、人の役に立てる看護師になってケガをした人や病気で苦しんでいる人たちを助けて笑顔にすることです。
三月十一日の東日本大震災で被害を受けた福島県が明るい未来に向かって進めるようにがんばりたいです。

福島県立須賀川高等学校
二年　安藤　摩耶

看護師になりたい。高校のＪＲＣに入ってから世界の知識が増えるたびに、気持ちがふくらむ。医療不足で苦しんでいる人は世界中でたくさんいる。そう考えると切ない気持ちと助けたい気持ちがふくらむ。

学校法人尚志学園尚志高等学校
二年　増子　晴美

わたしの夢、それは介護福祉士になること。
おじいちゃんおばあちゃんのささえになってあげること。たくさん話をして笑うこと。時には人生について教えてもらいたい。時にはなやみごとの相談もしたい。それが私の夢。

『わたしの夢・福島のみらい』佳作

福島市立福島第一小学校
一年 川崎 悠太
二年 梅津 千莉
三年 佐々木 菫
三年 岩﨑 生太
六年 深澤 美穂

桜の聖母学院小学校
二年 豊岡 奏多
四年 木幡 美優
五年 草野ひより
五年 髙橋りりか
六年 伊藤 光雪

二本松市立二本松南小学校
六年 佐藤 歩

二本松市立原瀬小学校
五年 菊地 辰也

本宮市立五百川小学校
五年 菅野 凜華
六年 山口 絵里
六年 太田 亜未
六年 遠藤 希
六年 渡辺 華音

郡山市立日和田小学校
五年 浜津 亜実
六年 橋本 千穂

郡山市立安積第三小学校
六年 柳沼 花

郡山市立片平小学校
六年 阿部 茉弥
六年 堀田 彩

郡山市立桃見台小学校
一年 穴澤 希歩

郡山市立富田東小学校
四年 七海 詩音
五年 佐藤 環
五年 小山内友規
五年 佐藤 亜美
五年 佐藤 未来
六年 高木 遥花
六年 志田 麗
六年 角田 碧
六年 渡部 健太

郡山市立富田西小学校
六年 穂積 樹

郡山市立大島小学校
六年 小川 瑠菜
六年 平野 貴之

須賀川市立第一小学校
五年 渡辺 琉華

須賀川市立稲田小学校
六年 角田 沙輝
六年 斎藤 凌汰

須賀川市立柏城小学校
二年 石橋 諒人
二年 石山 右京
六年 佐藤 結里

鏡石町立第一小学校
五年 大森 花梨
五年 藤田 絵実
五年 相楽 太陽
五年 佐久間美幸

鏡石町立第二小学校
三年 吉田 千夏

天栄村立大里小学校
五年 添田 聖也
六年 網藤 未来

天栄村立牧本小学校
六年 薄井 愛理

石川町立山形小学校
一年　鈴木　結斗

白河市立表郷小学校
五年　蓮田愛結美

西郷村立熊倉小学校
五年　和知　汐
六年　緑川　蒼空

会津若松市立城北小学校
五年　佐藤　音羽

会津若松市立川南小学校
四年　梅宮　愛佳

猪苗代町立緑小学校
五年　鈴木　泰樹

喜多方市立第一小学校
四年　小荒井　萌
四年　菅野　桃子
四年　加藤　創汰
六年　二瓶　胡桃

新地町立福田小学校
三年　齊藤　陽菜

新地町立新地小学校
三年　桑原　希弥
三年　髙野　葵
三年　南　翔太
四年　菅野　竜雅
六年　佐々　瑞穂
六年　泉沢　翔

相馬市立八幡小学校
六年　佐原　悠星
六年　門馬　咲夏

福島市立福島第一中学校
二年　小山内真彩
三年　鈴木　優利
三年　三村　聖哉
三年　齋藤　星輝

福島市立福島第二中学校
二年　齋藤　晃希
二年　大内　栞那
三年　武藤　聖

学校法人福島成蹊学園
福島成蹊中学校
三年　佐久間　遙

西郷村立西郷第一中学校
一年　内山　楓子
一年　石井　杏奈
一年　鈴木　響夢

いわき市立内郷第二中学校
二年　山崎　史絵

いわき市立湯本第一中学校
一年　小澤菜々美
二年　佐々木　舞
二年　浦部　多旺
三年　藍原　葵
三年　広辺菜々子
三年　柴山　創太
三年　遠藤摩夕子
三年　渡辺有梨紗

福島県立福島工業高等学校
一年　長沢　晃大

福島県立本宮高等学校
三年　瀬和　美貴

福島県立白河実業高等学校
三年　小島恵里菜

学校法人尚志学園尚志高等学校
二年　宗像　美桜

学校法人山崎学園
福島県磐城第一高等学校
三年　猪狩亜友美

『わたしの夢・福島のみらい』入選

福島市立福島第一小学校
一年 相樂 歩音
二年 高橋 凛
四年 梅津 千載
五年 佐々木 楓
五年 高橋 拓光
五年 菅野さくら
六年 佐藤 優多

福島市立東湯野小学校
六年 鈴木明日美

桜の聖母学院小学校
二年 齋藤玲於那
四年 シェランガスキー賢斗
五年 三瓶 詩織
六年 林 美沙子

伊達市立山舟生小学校
五年 髙橋 勇伍

二本松市立二本松南小学校
四年 菅野 月憂
四年 渡辺 ゆら
五年 大竹 玲弥
五年 武藤しずく
五年 齋藤 琉翔

二本松市立原瀬小学校
三年 五十嵐田栞
四年 大島 怜
四年 藤田 未羽

本宮市立五百川小学校
三年 遠藤 優太
五年 馬場 大河
五年 遠藤 百恵

郡山市立日和田小学校
三年 青山 玲平
三年 白井 瑞紀

五年 齋藤 幸祐

郡山市立安積第三小学校
五年 大友 真希
六年 高橋 琉那

郡山市立片平小学校
五年 境 大翔
五年 丹内 優季
五年 古川 裕也

郡山市立桃見台小学校
一年 佐藤真一郎
二年 橋本 昇汰
二年 鈴木さくら
二年 湯田 媛香
六年 高橋 怜子
六年 川口 愛理

郡山市立富田東小学校
四年 佐々木楓花
四年 塩野 隼斗
四年 白石 七瀬
四年 須田 有咲
四年 齋藤 明
四年 山本 彩太
五年 髙橋 杏
五年 柴田 紗綺
六年 八島 悠
六年 菊地 央珠
六年 志村 裕貴

郡山市立富田西小学校
一年 佐藤 花音
一年 馬場 友那
三年 丸山 聖華
四年 橋本 由依
四年 大辻 晴陽
六年 風間明日香

郡山市立東芳小学校
六年 阿久津佳穂

郡山市立大島小学校
六年 阿部 花音

六年　大谷　剣斗

須賀川市立第一小学校
五年　藤井　柚葵
六年　二瓶愛衣未

須賀川市立西袋第二小学校
四年　小林　佑羽

須賀川市立稲田小学校
六年　岩谷　孝喜

須賀川市立柏城小学校
三年　伊藤　康乃
六年　佐藤　僚介
六年　有馬　知捺
六年　小池　百音
六年　中山穂乃花
六年　関口ひなた

須賀川市立大東小学校
五年　須田　夏央
六年　三瓶　祐平

須賀川市立大森小学校
五年　大野　琉稀

須賀川市立長沼東小学校
六年　岡部　美里

須賀川市立白江小学校
三年　上妻　海斗
五年　阿部優太郎
六年　渡辺　文太

鏡石町立第一小学校
五年　飛澤　来心
五年　八代　武
五年　木村　駿斗
六年　佐藤　遥海
六年　古川　琳太
六年　佐久間晴那
六年　有賀　広夢
六年　小藤　真優

鏡石町立第二小学校
四年　根本　敬介
五年　根本　咲良
六年　髙橋　明詠

天栄村立大里小学校
六年　吉田　紗

天栄村立牧本小学校
四年　黒澤　悠
四年　大須賀夏奈

石川町立中谷第二小学校
一年　岩谷　悠生
六年　瀧川　幹太

石川町立山形小学校
一年　生田目珠李
五年　高原　彩乃

玉川村立川辺小学校
三年　須藤　久雅

白河市立関辺小学校
六年　柳沼奈津希

白河市立表郷小学校
四年　森　遥香

白河市立釜子小学校
四年　徳富　麻紘

白河市立信夫第一小学校
六年　渡邉　柚季

西郷村立熊倉小学校
六年　菊地　俊輔
六年　緑川　蒼空
六年　湯浅　咲希

矢吹町立三神小学校
六年　小林　柊音

矢祭町立下関河内小学校
五年　金澤　依吹

矢祭町立関岡小学校
四年　石井　愛来

矢祭町立石井小学校
五年　金澤　凌真

会津若松市立城北小学校
五年　湯田　克大
五年　佐藤　聖南
五年　間舩　準也
五年　金川　亜史
五年　小林　奈穂
五年　齋藤　里咲

会津若松市立川南小学校
二年 小池 桜雅

会津若松市立河東学園小学校
五年 佐藤 静玖

喜多方市立第一小学校
四年 遠藤 凛
六年 白井 宙佳
六年 安藤 葉子

新地町立福田小学校
三年 河上 遙
四年 加藤 塁
四年 横山 正貴

新地町立新地小学校
二年 早川 英那
二年 黒髙 栞
二年 泉沢 遼
二年 渡辺 駿
二年 東 ゆきの
三年 高野 莉緒
三年 窪田きらり
四年 佐藤 翔
四年 寺島 雷己

四年 黒沢紳之丸
五年 新開はるな
五年 水戸 寧音
六年 佐藤 真央
六年 加藤 一航

福島市立福島第一中学校
一年 神山こころ
二年 伊藤 瞳
二年 佐藤優之介
二年 神田 夏未
三年 中村 樹也
三年 高橋 将樹
三年 今野 花
三年 鹿野 陵一

福島市立福島第二中学校
一年 金成 貴斗
三年 松本 孝仁

西郷村立西郷第一中学校
一年 菊地ゆきの

いわき市立藤間中学校
二年 鈴木 桃香

いわき市立大野中学校
三年 鯨岡 南海

いわき市立内郷第二中学校
一年 佐々木健人
三年 日塔湖津恵

いわき市立湯本第一中学校
一年 伊藤 綾
一年 大槻 鮎美
一年 鈴木 実玖
二年 比佐 幸恵
三年 樋口 智也
三年 増井ノミン
三年 鈴木 涼花
三年 山﨑 咲香
三年 大和田将哉

いわき市立植田中学校
二年 石橋 夏実

福島県立福島工業高等学校
一年 関 航矢

福島県立白河実業高等学校
二年 佐々木真貴

二年 鈴木咲津紀
二年 菊池 諒平
二年 小林 美穂
二年 小山田有希
三年 古山 和真
三年 添田茉奈美
三年 木口 佳美
三年 前川 絢輝

学校法人尚志学園尚志高等学校
二年 鈴木 綾
三年 村田 晴美

学校法人昌平黌
東日本国際大学附属昌平高等学校
三年 坂本桂奈子

一〇〇文字提案

「お友だちのすばらしいところ」

「お友だちのすばらしいところ」
最優秀賞・優秀賞　受賞者一覧

最優秀賞

福島市立福島第一小学校
二年　梅津　千莉

郡山市立安積第三小学校
五年　橋本　春那

郡山市立富田西小学校
一年　尾辻　陽菜

須賀川市立西袋第二小学校
六年　鈴木理代佳

須賀川市立柏城小学校
四年　橋本　卓

鏡石町立第一小学校
五年　関根　愛子

天栄村立牧本小学校
四年　猪越　魁人

矢吹町立三神小学校
六年　関根　啓太

矢祭町立関岡小学校
三年　藤井　俊輔

会津若松市立川南小学校
五年　鈴木　健仁

新地町立新地小学校
三年　橘　翼

楢葉町立楢葉中学校
二年　名見耶　雅

いわき市立植田中学校
三年　門馬　英絵

学校法人松韻学園福島高等学校
二年　西方　宏光

優秀賞

福島市立福島第一小学校
四年　伊藤　瑛士

福島市立福島第四小学校
六年　本多　勢来
六年　皆川　智勢

桜の聖母学院小学校
四年　加藤　実茜
五年　阿部　彩花

本宮市立五百川小学校
三年　遠藤　姫那
四年　有馬　颯紀
四年　星　凛大
五年　角口　翔

郡山市立安積第三小学校
六年　田代　羽曇

郡山市立金透小学校
三年　竹内　凛
三年　長谷川紗也

郡山市立桃見台小学校
四年　阿部　愛来

郡山市立富田東小学校
四年　渡辺　莉子
四年　赤沼みどり
四年　渡部　翔
六年　近藤　里菜

郡山市立白岩小学校
六年　大越　あい

須賀川市立柏城小学校
四年　須釜　大翔
六年　小室　莉子

須賀川市立大森小学校
一年　関根　優衣
五年　関根　朱音

須賀川市立白江小学校
六年　古川　史花

鏡石町立第一小学校
六年　石井　利奈

鏡石町立第二小学校
二年　菅原　聖矢

天栄村立広戸小学校
六年　戸川　大文

天栄村立大里小学校
六年　大須賀ミウ

天栄村立湯本小学校
三年　中村　賢莉

会津若松市立河東学園小学校
五年　小向彩也乃

会津美里町立新鶴小学校
二年　佐藤　陽香
三年　五十嵐大希

新地町立福田小学校
五年　横尾　晟希

福島市立福島第一中学校
二年　尾形　拓都
二年　宗像　瑠璃
三年　上田　海帆
三年　小林安美香
三年　古川　怜奈

福島市立福島第二中学校
一年　河野　恭平

学校法人福島成蹊学園
福島成蹊中学校
一年　平岡　宗祥

福島県立郡山商業高等学校
一年　渡辺　加奈

福島県立白河実業高等学校
二年　柳沼　南雲
三年　星　亮

『お友だちのすばらしいところ』最優秀賞

福島市立福島第一小学校　二年　**梅津　千莉**

たかはしゆうなさんが、わたしのハンカチをひろってくれました。
「ありがとう。」と言うと「どういたしまして。」と言ってわらってくれました。気持ちがフワッとかるくなって、もっとゆうなさんが大すきになりました。

郡山市立安積第三小学校　五年　**橋本　春那**

今、一番仲のいい友達とろう下を歩いていたら、低学年の子が、困っていました。私は知らない子だったのでむしして、いこうとしたら、友達がやさしくその子に声をかけていました。友達にみとれていました。

郡山市立富田西小学校　一年　**尾辻　陽菜**

しょうがっこうにはいってはじめてのきょうしつ、はじめてのともだち、はじめてがいっぱいでどきどきだったけど、おともだちがいてくれたからいつのまにかにこにこになった。やっぱりともだちっていいね。

須賀川市立西袋第二小学校　六年　**鈴木理代佳**

私の友達で、いわきの海付近に住んでいる男の子がいます。震災が起きた後も一切悲しい顔を見せずに、いつも笑顔です。大切な物、大切な人を、たくさん失っても、いつも笑顔ですばらしいと思った。

須賀川市立柏城小学校　四年　**橋本　卓**

はるがくんはぼくが休んだ時、先生にもいわれてないのにシューズをとどけてくれた。
お母さんに、
「たくの事おねがいします。」と言って帰って行った。
ぼくもはるがくんがかぜをひいた時、同じ事をできるといいなと思った。

鏡石町立第一小学校　五年　**関根　愛子**

わたしは走るのが苦手。むしろきらい。そんなわたしに、さりなちゃんが言った。「一緒に陸上をやろう。」さりなちゃんみたいに走れたらいいなあと思いながら走っていたら、まあまあ好きに変わってきた。不思議。

天栄村立牧本小学校　四年　**猪越　魁人**

やさしい友だち
ありがとう
さそってくれて
うれしかったよ
たすけてくれて
なみだがポロリ
はげましてくれて
力がでたよ
ぼくもなりたい
そんな友だちみたいに

矢吹町立三神小学校　六年　**関根　啓太**

渡邊裕貴君はすばらしい。
なぜなら、いつも進んでトイレのスリッパを並べたりしているし、水道の蛇口を下に直したりしているから。だからぼくも、そんな裕貴君のようなやさしい人になりたいです。

矢祭町立関岡小学校　三年　藤井　俊輔

六年生のはやとくんは、とってもあいさつの声が大きくて、ぼくの学校のあいさつ名人だ。
元気があるから、あんな風に大きな声で気持ちよくできるのかなぁ。ぼくも、朝ご飯をしっかり食べ、はやとくんのようになるぞ。

会津若松市立川南小学校　五年　鈴木　健仁

ぼくたちの同級生は十三人です。女子が四人で、男子が九人です。よく手を上げて発言する人や、やさしい人や、よくけんかする人、いろんな友達がいます。
この十三人で一緒にいられるのは楽しいです。ずっと友達でいたい。

新地町立新地小学校　三年　橘　翼

ありがとう、やさしいね、こたろうくんに言われた時、ぼくはとてもうれしくなりました。ちょっとかばんをとどけただけなのに。
こたろうくんのよいところは、感しゃの言葉をきちんと言えるところだと思います。

いわき市立湯本第一中学校
（現楢葉町立楢葉中学校）　二年　名兒耶　雅

友達がいるすばらしさを一番知るのが、悩んでいる時です。悩んでいる時に友達が聞いてくれ、そばにいてくれて一緒に笑う時もあれば、一緒に泣く時もあって……。そこまでしてくれるのは友達だけ。友達は一生の宝物です。

いわき市立植田中学校　三年　門馬　英絵

私を理解してくれる、それが私の友達のすばらしいところ。話下手な私の言葉を最後まで受け取ってくれて、私の気持ちをしっかりと考えてくれる。
なかなか会えないけれどこの友達とこれからも一緒にいたい。

学校法人松韻学園福島高等学校　二年　西方　宏光

「やってもできないやつだな、お前は。」そう言われても一生懸命にがんばるその姿が僕は好き。
一歩でもいい、半歩でもいい。いつかはその一歩が大きな一歩になるだろう。最後までがんばれ、あきらめずに。

『お友だちのすばらしいところ』優秀賞

福島市立福島第一小学校
四年　伊藤　瑛士

ひでたか君は、道でたおれている人を見つけて声を出してまわりの人に助けをもとめました。そして次にきゅうきゅう車をよびました。

怖かったと思うけど、とても勇気がある行動だと思いました。

福島市立福島第四小学校
六年　本多　勢茉

習字が終わったあと、友達が、よごれている水道やろう下を、ぞうきんで、一生けん命にふいていた。ぼくも、いっしょにふいた。心がピカピカになったみたいだった。

福島市立福島第四小学校
六年　皆川　智勢

町の中を友達と歩いていた時、ゴミが落ちているのに気がついた。私が、そのまま通り過ぎようとしたら、となりを歩いていた友達がごみをさっと拾った。

私はドキッとした。私の友達は、やっぱりすごい。見習わなくちゃ。

桜の聖母学院小学校
四年　加藤　実茜

私はさか上がりができませんでした。

お友だちが分かりやすく教えてくれたので、できるようになりました。

自分の休み時間をへらして一しょに一喜一ゆうしてくれたお友だちがいてくれることがすばらしいと思いました。

桜の聖母学院小学校
五年　阿部　彩花

私の友達は、いつも前向きに考えている。私はそんなことはできなかった。

私がまちがった時に、明るく「前向きにがんばろう。」と言ってくれた。

その日から私は前向きに考えることができるようになった。

ありがとう。

本宮市立五百川小学校
三年　遠藤　姫那

わたしがボランティアですごいと思った人は五年二組のゆうなちゃんです。理由は、げたばこふきをていねいにしていて、「後でそっち手伝うね。」と言ってくれました。

わたしもこまっている人に言えるようにしたいです。

本宮市立五百川小学校
四年　有馬　颯紀

きのさんは、わたしにえ顔をくれるやさしくて思いやりのある女の子です。わたしは、きのさんのえ顔を見るだけで思わずにこっと笑ってしまいます。

きのさんはわたしにとって心を支えてくれるそんざいです。

本宮市立五百川小学校
四年　星　凛大

たつきくんは、バスケで、ぼくが失敗した時に、「いっしょにがんばろう。」とはげましてくれました。その言葉を聞いた時、よしがんばるぞとゆうきがわいてきました。
みんなを大切にするせんぱいは、かっこいいです。

本宮市立五百川小学校
五年　角口　翔

ぼくの友達に、ぼくをささえてくれる人がいます。一番心に残ったのは、身長のことです。
ぼくはせが低いので、少し心配していますが、
「そのうちのびるよ。」
と言ってもらえて、なんだかほっとしました。

郡山市立安積第三小学校
六年　田代　羽晏

私は前に、友達の消しゴムが落ちたので拾ってあげました。するとその子はありがとうだけでなく、「こんなところに置いてごめんね。」と謝ってきました。
自分の悪さを認められるのはすごいと思いました。

郡山市立金透小学校
三年　竹内　凛

ぼくの友だちのすばらしいところは、何を言われてもきたない言葉をつかわないところです。前に、「バカ。」と言われた時、「ぼくバカという名前じゃないもん。」と友だちは答えていました。かっこいいです。

郡山市立金透小学校
三年　長谷川紗也

れいみちゃんは、けんかをしてもすぐに仲直り出来る友達です。「ごめんね。」「いいよ。」が素直に言えます。やさしくて思いやりがあるから、気持ちが伝わるのだと思います。
いつも明るいれいみちゃんはとてもすてきです。

郡山市立桃見台小学校
四年　阿部　愛来

みづきちゃんはね
いつもニコニコ
たのしそう
のぞみちゃんはね
友だちいっぱい
にんき者
祥一郎くんはね
みんながそんけいするほどやさしい
そんなふうに
なりたいな
でもいつか
みんなみたいに
なってやる

郡山市立富田東小学校
四年　渡辺　莉子

友だちと　遊ぶ。
友だちと　笑う。
友だちと　泣く。
友だちと　考える。
友だちと　書く。
友だちと　勉強する。
友だちと　食べる。
友だちがいるから、
すばらしい毎日。
大切な友だち。

郡山市立富田東小学校
四年　赤沼みどり

私の友だちのすばらしいところは、教えてあげるとありがとうというところです。なので、教えた方も教えてあげてよかったなと思います。
私も、その友だちを見習ってたくさんありがとうをいっていきたいと思います。

郡山市立富田東小学校
四年　渡部　翔

ぼくの友達にTくんがいます。そのTくんの素晴らしさは、どんなことにでも前向きにぶつかるところです。その姿を見ていると、自然と元気が出てきます。
一人一人、いろいろな素晴らしさがあるのだと思いました。

郡山市立富田東小学校
六年　近藤　里菜

はげましたり
笑ってくれたり
助けてくれたり
けんかしたり
仲直りしたり
よろこんだり
その一つ一つが
自分にとっての
友達が大きく見える
それが美咲ちゃん

郡山市立白岩小学校
六年　大越　あい

咲希ちゃんはいつもみんなの真ん中で笑ってる。それはたぶん、みんなが咲希ちゃんといると楽しいから。にこっと笑う咲希ちゃんは、いつも光って見える。咲希ちゃんは面白くてやさしい私の最高の友達。

須賀川市立柏城小学校
四年　須釜　大翔

お友だち
けんかをしたりいじめたりもする。悪口を言ったりもする。
でも明日になれば、なかなおり。お友だちと遊んでいるとわくわくする。明日になれば、助け合ったりする。
友だちっていいな。

須賀川市立柏城小学校
六年　小室　莉子

わたしのお友だちはすばらしい。困っている人、泣いている子、けがをした子一人もみのがさない。そして手伝いをしてあげている。どうしてそんなにすばらしいの、と聞いたら、「ありがとう」と言う言葉が好きだからだって。

須賀川市立大森小学校
一年　関根　優衣

わたしは、ひなちゃんがすごいとおもいます。といれにいったとき、ひなちゃんがなにもいわずに、すりっぱをそろえていました。
じぶんできがついてやるのは、すばらしいことだとおもいます。

須賀川市立大森小学校
五年　関根　朱音

花香さんは、私のよい所だけではなく悪い所を私に言ってくれます。自分でも気づくことができました。悪いこともきちんと言えてこそ本当の友達だと思います。
花香さんにはよい所がたくさんあってすてきだと思います。

須賀川市立白江小学校
六年　古川　史花

私の友達の美結さんのすばらしいところは、だれにでも優しくできるところです。美結さんは、よくいろいろな人を、はげましたり、ほめてくれたりしています。そんな美結さんと一しょにすごしていると楽しくなります。

鏡石町立第二小学校
二年　菅原　聖矢

だいきくんは、
「あそぼう。」
といいます。いっしょにアンパンマンを見るのがたのしいです。
ぼくは、あさ、ようたくんをまっています。いっしょに、きょうしつまでいくのがたのしいです。

天栄村立大里小学校
六年　大須賀ミウ

毎日、おなかをかかえてたくさん笑わせてくれる友達。けんかをするほど仲が良い友達。時には、注意してくれたり怒ってくれたり。
こんなに良い友達がいる中で、学校生活が送れることが、とても幸せという事を知った。

会津若松市立河東学園小学校
五年　小向彩也乃

まおちゃんのいいところは、どんな時も明るくて勉強もしっかりとし何事にも一生けんめいなところです。わたしもまおちゃんみたいにどんな時でも明るくふるまい何事にも一生けんめいになりたいと思いました。

鏡石町立第一小学校
六年　石井　利奈

私の友達は、りさちゃん。いつも、笑顔でいっしょにいると楽しくて、とてもやさしい友達。クラスの人気者で、元気をくれる。だれとでも仲良くできる魔法を持っている。だから私にとっての最高の友達。

天栄村立広戸小学校
六年　戸川　大文

お兄ちゃんはすごい
毎日毎日サッカーの
練習をしている
ぼくの友達はすごい
毎日毎日プールで泳いでいる
続けるってすごい
がんばるって
すごくかっこいい

天栄村立湯本小学校
三年　中村　賢莉

クラスに仲良しの友だちがいます。その友だちは、毎日プレゼントをしてくれます。それは「うれしくなる言葉」です。今日も水泳の学習の時に、「上手だね。」と言ってくれて、とてもうれしくなりました。

会津美里町立新鶴小学校
二年　佐藤　陽香

わたしが、きゅうしょくをたべるのがおそかった時、おぼんやしょっきのかたづけを、はるとくんが手つだってくれました。とてもうれしかったです。
わたしも、友だちがこまっていたら、手つだってあげたいと思います。

会津美里町立新鶴小学校
三年　五十嵐大希

ぼくが給食当番の時、一階から三階まで、重いめんのはこを一人で運ぼうとしていました。重くてやっと階だんをのぼっていたら、上級生の〇〇さんが、「手伝うよ」といって助けてくれました。〇〇さんってやさしいなあ。

福島市立福島第一中学校
二年　尾形　拓都

私はあの時、数センチ単位で動く机を見ていたが、友達は違う。ストーブの電源を切り、のっていたやかんを床に置いたりしていた。ドアや窓を開けていた友達もいた。みんな素晴らしい対応で奮闘していた。

福島市立福島第一中学校
三年　上田　海帆

大きな地震の震動が教室中に広がってみながパニックになった。泣き出してしまう子も多い。だが、泣かなかった友達は泣いている友達を一生懸命に背中をさすっている。みんなは段々と泣き止んでいった。

福島市立福島第一中学校
三年　古川　怜奈

「大丈夫だから。」揺れている中そんな声が響く。泣いている人がいる。「大丈夫だから。」私は何も言わなかった。何も出来なかった。悔しい。何も出来ない自分。友達も怖いと思っているはずだ。でも声をかけ続けていた。

新地町立福田小学校
五年　横尾　晟希

崚馬君のすばらしいところは「やさしくて強い」ところです。だから、崚馬君は弱い人も守ってくれます。僕も守られた事があるので、崚馬君は僕のあこがれの人です。僕もいつか崚馬君みたいにやさしくなりたいです。

福島市立福島第一中学校
二年　宗像　瑠璃

新学期。またあの地震がくるんじゃないかとおびえていた日々が過ぎ、久しぶりに会えた友達。うれしかった。安心した。「友達」がいなかったら、きっとこの感情はなかっただろう。

福島市立福島第一中学校
三年　小林安美香

同じバスケ部で両ひざに水がたまっている友達。痛くても休まないで走ってる。

休んだほうが良いと言うと、「自分は練習についていけない時があるから休めない。無理してでもやらなくちゃ。」すごいなあ。私もこうなろう。

福島市立福島第二中学校
一年　河野　恭平

友達は、とても大切な存在で、家族にも言えないような事も話す事ができる。そして、毎日の生活で、楽しさやうれしさを与えてくれたり、悲しい時には励まし合ったりする、

人として生きるために、とても大切な存在です。

学校法人福島成蹊学園
福島成蹊中学校
一年　平岡　宗祥

いつも近くにいた
いつも笑顔があった
いつも楽しかった
いつも心の支えになった
時には、雷が落ちるときもあった
嫌な時もあった
それでも、大切な友達がいた
友達がいてくれたからがんばれた
ありがとう

福島県立郡山商業高等学校
一年　渡辺　加奈

ある女の子が震災の影響により私のクラスに転校してきた。その子は、辛い思いをしているにもかかわらず周りに迷惑をかけないようにと弱音をひとつも吐かなかった。自分よりも周りのことを考えていて素晴らしかった。

福島県立白河実業高等学校
二年　柳沼　南雲

私の友人は、自分にはないものをたくさん持っています。それは勿論、内面的な物です。

その友人の良い所は、とても行動的かつ責任感も強く友達思いで、私も何度も助けられました。いつかその友人に感謝を行動で伝えたいです。

福島県立白河実業高等学校
三年　星　亮

私の友達のすばらしいところは。一緒に笑えること。ケンカできること。仲なおりできること。また一緒に笑えること。だと思います。友達っていいですね。

『お友だちのすばらしいところ』佳作

伊達市立山舟生小学校
五年　八巻　伶門

二本松市立二本松南小学校
四年　鈴木　伊織

二本松市立原瀬小学校
一年　高宮　翔佐
一年　安田　わこ
二年　前田　陽香
四年　渡辺　華歩

本宮市立五百川小学校
三年　鈴木　杜明
四年　菊地　理桜
五年　関　友星

郡山市立日和田小学校
三年　矢部　花菜
三年　丸山　隆也

五年　新田　凌生

郡山市立安積第三小学校
六年　吉田　樹也
六年　三本菅海斗

郡山市立桃見台小学校
一年　浜谷　葵咲
二年　片寄　綾太

郡山市立富田東小学校
二年　伊藤　鈴音
六年　安田　茉子

郡山市立東芳小学校
五年　芦　南海

郡山市立大島小学校
六年　山本真莉子

須賀川市立柏城小学校
二年　川上　莉子

須賀川市立大森小学校
一年　関根　琢人
四年　熊田　武
五年　関根　千明
五年　関根　佳吾

須賀川市立長沼東小学校
六年　朝日健太郎

鏡石町立第二小学校
二年　吉田　有里
四年　添田　葉月
六年　添田　隼杜

天栄村立湯本小学校
二年　室井　朱梨

白河市立信夫第一小学校
六年　大竹　穂佳

矢吹町立三神小学校
六年　鈴木　留囲

喜多方市立第一小学校
四年　丸谷　瑞紀
四年　石山　優月
五年　豊子　留奈
六年　加藤さくら

会津美里町立新鶴小学校
二年　村山　実優
五年　大堀　朋栞
五年　齋藤　真凜
六年　一條　太一

檜枝岐村立檜枝岐小学校
六年　橘　杏泉

福島市立福島第一中学校
三年　大沼　拓斗
三年　角田　萩平
三年　高橋　佑季

福島市立福島第二中学校
三年　佐藤　昴太

学校法人福島成蹊学園
福島成蹊中学校
一年　豊福　采奏
一年　松塚　梨紗

浅川町立浅川中学校
一年　会川　真宙

いわき市立藤間中学校
一年　渡邉　光

いわき市立湯本第一中学校
二年　小宮　沙織
三年　石井　千里

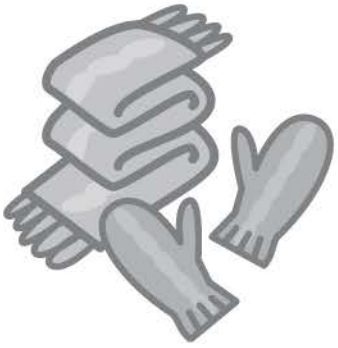
福島県立福島高等学校
二年　渡邊　大亮

福島県立福島工業高等学校
一年　関　航矢

福島県立本宮高等学校
三年　佐藤　帆南

福島県立白河実業高等学校
二年　髙橋　暖可

学校法人尚志学園尚志高等学校
三年　玉木　宏枝



『お友だちのすばらしいところ』入選

福島市立福島第一小学校
四年　斎藤優之介

福島市立福島第四小学校
六年　丹治　歩夢

二本松市立二本松南小学校
五年　安齋咲雪樹
六年　星　彩華
六年　鈴木　亮祐
六年　米良弥瑞紀

二本松市立原瀬小学校
二年　山崎野々香
四年　高宮　栞奈
四年　齋藤　桃香
四年　志賀　七海

本宮市立五百川小学校
三年　影山　社
三年　國分　陽菜
三年　三菅　梨緒
四年　北澤　怜奈
四年　髙橋　希園
五年　渡邊　未来
五年　松本　遥希
五年　遠藤　愛弓
六年　北澤　唯人

郡山市立日和田小学校
四年　工藤かなえ
四年　國分　聖人
四年　鈴木　詩野
四年　菅野　愛

郡山市立安積第三小学校
五年　菅野　友花
五年　齋藤　徹平
六年　浅野　智也
六年　力丸　葵

郡山市立片平小学校
三年　国分　彩花
四年　阿部　成希
六年　鈴木　里佳
六年　藤田　欄

郡山市立金透小学校
三年　井上　真愛

郡山市立桃見台小学校
四年　熊田　菜摘
四年　栗山　真子
五年　小檜山菜緒
六年　角田　有咲

郡山市立富田東小学校
二年　井上　心葉
四年　大橋　拓馬
四年　須田　有咲
六年　酒井　澪亜
六年　渡邊　美咲
六年　三浦　麗

郡山市立富田西小学校
六年　荒明もも香

郡山市立白岩小学校
六年　小沼　千紘
六年　青山　咲希

郡山市立東芳小学校
五年　本多　未奈

郡山市立大島小学校
六年　吉田　真唯

郡山市立海老根小学校
五年　熊田　仙慎

須賀川市立第一小学校
五年　二瓶　愛梨
五年　鈴木　彩乃
五年　横田　侑季
六年　高原　結子

須賀川市立西袋第二小学校
六年　佐藤　凜

須賀川市立稲田小学校
六年　常松　玲奈

須賀川市立柏城小学校
三年　大森　真人

須賀川市立大東小学校
六年　熊谷衣来美
六年　関根　美侑
六年　山口　柚輝

須賀川市立長沼東小学校
六年　伊藤　真琴

鏡石町立第一小学校
六年　白坂　悠里
六年　勝木　りさ

鏡石町立第二小学校
三年　小林　凌雅
四年　藤井　光
四年　藤澤　航紀
六年　吉田　璃音

天栄村立牧本小学校
一年　三本松美羽
三年　蛭田　周夏
六年　真船　姫佳

玉川村立川辺小学校
五年　三瓶　愛佳

白河市立表郷小学校
三年　近藤なぎさ
四年　針木　琉衣

白河市立釜子小学校
四年　大戸　優弥

白河市立信夫第一小学校
六年　大竹　佑京
六年　目黒　太規

西郷村立熊倉小学校
五年　中山ちはる
五年　檜山　未来
五年　鍋島　美帆
六年　大迫　由奈
六年　渡邊　卓登
六年　樋口　陽色

矢吹町立三神小学校
六年　泉川　柊
六年　渡邊　裕貴

矢祭町立関岡小学校
三年　菊池　竜也

矢祭町立石井小学校
六年　金沢　源太

会津若松市立城北小学校
五年　猪俣　慧斗
五年　岩橋ひより

会津若松市立河東学園小学校
四年　赤羽　秀斗
五年　飯塚　愛音

喜多方市立第一小学校
四年　二瓶　幸斗
四年　菅野　日菜
四年　赤塚なる美
四年　白井　歩
四年　加藤　航
六年　加藤　和恵

会津美里町立新鶴小学校
三年　齋藤広太郎
六年　五十嵐あやの

新地町立福田小学校
一年　細山千咲希
一年　横山香寿美
四年　大石　優花
六年　窪田　祥希

福島市立福島第一中学校
一年　小野　楓
二年　櫻庭　丈

西郷村立西郷第一中学校
三年　横塚　深愛

いわき市立内郷第二中学校
一年　吉村　和

いわき市立湯本第一中学校
一年　蛭田　結衣
二年　久田　萌香
二年　高橋　菜樹

福島県立須賀川高等学校
一年　磯川絵里奈

福島県立白河実業高等学校
二年　国井　麻耶
二年　遠藤　千晶
二年　鈴木　啓太
三年　小林　美穂
三年　相澤　里奈
三年　班目菜々子

学校法人尚志学園尚志高等学校
二年　曽我　知代
二年　佐藤　明音
三年　鵜沼　萌子

一〇〇文字提案

「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようと考えていること』」

「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようと考えていること』」最優秀賞・優秀賞 受賞者一覧

最優秀賞

福島県立郡山商業高等学校
一年 安倍 卓弥

優秀賞

福島県立福島工業高等学校
一年 名倉 和輝

福島県立郡山商業高等学校
一年 佐々木稜平
一年 渡辺 美咲
一年 柳沼 篤
一年 池田 媛香
三年 青柳 楓夏
三年 鈴木里可子
三年 中塚 彩希

福島県立白河実業高等学校
二年 緑川かれん
二年 延原 圭吾
三年 鈴木 陽

『東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようと考えていること』』 最優秀賞

福島県立郡山商業高等学校　一年　安倍　卓弥

私は東日本大震災が起こってから数日間、学校の避難所に暮らすことになりました。

私は、そこで生活している人同士が協力し合っている姿を見て、感動し、自分もボランティアとして協力しました。

『東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようと考えていること』』優秀賞

福島県立福島工業高等学校
一年　名倉　和輝

初めて知れた自分の弱さを
大きな壁の前で立ちつくすだけの
初めて感じた自然の怖さを
簡単に命を奪えるその力を
だけど今の僕は
絶対に負けやしない

福島県立郡山商業高等学校
一年　佐々木稜平

僕には夢があります。それは、東日本大震災で被災した、自分の住んでいる福島のために働くことです。

震災の時中学生だった僕は何もできなかったので、福島復興のためにこれからがんばりたいです。

福島県立郡山商業高等学校
一年　渡辺　美咲

日本人の人を思いやる気持ちと、周りの人々と協力する力は素晴らしいものだ。私が震災を通して感じたことでもある。

私も日本人の一人として、少しでも自分にできることをして、被災地の復興に協力していきたい。

福島県立郡山商業高等学校
一年　柳沼　篤

東日本大震災が起き、私もできることがあればと思い、歌で人を元気づけたいと考え、特設合唱部に入部し、毎日一生懸命練習しました。大会当日では、歌い終わった後の大勢の拍手が聞こえ、とても嬉しく思いました。

福島県立郡山商業高等学校
一年　池田　媛香

私は震災後、避難者が集まっている施設へ行った事があります。郡山に避難して来ている小中学生にノートを寄贈するためです。

その時に様々な人々と関わる中で、いつか人を救える人になりたいと思いました。

福島県立郡山商業高等学校
三年　青柳　楓夏

東日本大震災が起きた年の夏、福島総文が開催された。以前行う予定だった内容では無くなってしまったが、福島県民の明るさや復興に向けての頑張りを福島県民の一員として全国に伝えられたことを誇りに思う。

福島県立郡山商業高等学校
三年　鈴木里可子

私は、普段している生活ができなくなることを実感した。

私の家は美容室を経営している為、避難所で無料のカットを行った。私はそれの補助をした。

あの笑顔を見て、私も人に喜ばれるような職に就こうと決心した。

福島県立郡山商業高等学校
三年　中塚　彩希

私はこの東日本大震災を経験し東北の人のために地元に残って働きたいと思いました。そして福島や東北の方々を少しでも笑顔にしていけるようにしたいです。

私はこの震災で亡くなった人の分精一杯生きていきたいです。

福島県立白河実業高等学校
二年　緑川かれん

あの日失った儚い命は決して無駄にしてはならない。
生きたいと願っても叶わなかった命。
愛しいあの人に二度と会えない悲しみを背負って生きていく人達。
その背中を見たら誰かの為に行動しようと、一歩踏み出せるはず。

福島県立白河実業高等学校
三年　鈴木　陽

人の為に何かをするのって難しい。何をすればいいのか、何から始めればいいのか。しかし答えは日本中、世界中の人が教えてくれた。
何も言わずに手を差しのべてくれた人達に今度は私ができる精一杯の事をする時だ。

福島県立白河実業高等学校
二年　延原　圭吾

あの日、地が震らぐ時、犬やカラスの悲鳴。緊急車のサイレン。二年経った今、こうした音もあまり聞かなくなっていった。
蝉の音、復興工事の音でさえもが、「未来への足音」だと感じられるようになってきた。

『東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようと考えていること』』佳作

福島県立郡山商業高等学校

一年　折笠　基城
一年　杉内　もも
一年　橋本　亜蘭
一年　板橋　敬祐
一年　滝田　佳名
一年　枝村奈津希
三年　宗像　李奈

学校法人尚志学園尚志高等学校

二年　吉田　廉
二年　小沼　日織
二年　戸田　薫里
三年　増子　和真

福島県立白河実業高等学校

二年　緑川　千夏
二年　藤田麻里菜
三年　塩田　舞
三年　佐藤万由子

『東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようと考えていること』』入選

福島県立郡山商業高等学校

一年　赤間　陽菜
一年　川音希美香
一年　早川　里奈
一年　吉田妃奈子
一年　古川　千里
一年　橋本　美紅
一年　柳沼　瞳
一年　渡辺まどか
一年　阿部　美華
一年　小山あずさ
一年　佐藤　里佳
一年　重富　菜咲
一年　武田　美樹
一年　増子　奈々
一年　若松　美琴
二年　池田　哲平
三年　尾平有希子
三年　松崎　真依
三年　武田麻里奈
三年　増子　朋奈
三年　本田　梨華

福島県立白河実業高等学校

二年　山田　美里
二年　中川　愛花
二年　本城　希
二年　本田　友汰
二年　中西　勇貴
三年　瀬谷　辰義

福島県立いわき総合高等学校

一年　田中さくら

学校法人山崎学園
福島県磐城第一高等学校

二年　北郷明日香

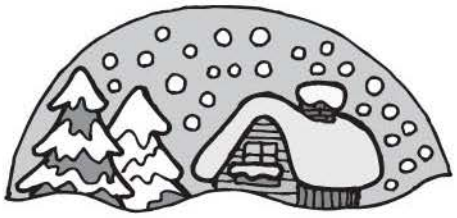
学校奨励賞

福島市立福島第一小学校
二本松市立二本松南小学校
二本松市立原瀬小学校
本宮市立五百川小学校
郡山市立富田東小学校
須賀川市立柏城小学校
玉川村立川辺小学校
矢祭町立下関河内小学校
喜多方市立第一小学校
檜枝岐村立檜枝岐小学校
福島市立福島第一中学校
福島県立郡山商業高等学校
福島県立須賀川高等学校
福島県立白河実業高等学校

応募校一覧

福島市立福島第一小学校
福島市立福島第四小学校
福島市立杉妻小学校
福島市立東湯野小学校
桜の聖母学院小学校
伊達市立山舟生小学校
二本松市立二本松南小学校
二本松市立原瀬小学校
本宮市立五百川小学校
郡山市立日和田小学校
郡山市立安積第三小学校
郡山市立片平小学校
郡山市立金透小学校
郡山市立桃見台小学校
郡山市立富田東小学校
郡山市立富田西小学校
郡山市立白岩小学校
郡山市立東芳小学校
郡山市立大島小学校
郡山市立海老根小学校
須賀川市立第一小学校
須賀川市立西袋第二小学校
須賀川市立稲田小学校
須賀川市立小塩江小学校
須賀川市立柏城小学校
須賀川市立大東小学校
須賀川市立大森小学校
須賀川市立長沼東小学校
須賀川市立白江小学校
鏡石町立第一小学校
鏡石町立第二小学校
天栄村立広戸小学校
天栄村立大里小学校
天栄村立牧本小学校
天栄村立湯本小学校
石川町立中谷第二小学校
石川町立山形小学校
玉川村立川辺小学校
田村市立古道小学校
田村市立岩井沢小学校
白河市立関辺小学校
白河市立表郷小学校
白河市立釜子小学校
白河市立信夫第一小学校
西郷村立熊倉小学校
西郷村立小田倉小学校
矢吹町立三神小学校
矢祭町立下関河内小学校
矢祭町立関岡小学校
矢祭町立石井小学校
会津若松市立城北小学校
会津若松市立川南小学校
会津若松市立河東学園小学校
猪苗代町立緑小学校
喜多方市立第一小学校
会津美里町立新鶴小学校
檜枝岐村立檜枝岐小学校
新地町立福田小学校
新地町立新地小学校
相馬市立八幡小学校
福島市立福島第一中学校
福島市立福島第二中学校
学校法人福島成蹊学園福島成蹊中学校
国見町立県北中学校
浅川町立浅川中学校
田村市立常葉中学校
白河市立五箇中学校
西郷村立西郷第一中学校
会津若松市立一箕中学校
いわき市立藤間中学校
いわき市立大野中学校
いわき市立内郷第二中学校
いわき市立湯本第一中学校
いわき市立植田中学校
福島県立福島高等学校
福島県立福島工業高等学校
福島県立福島北高等学校

福島県立本宮高等学校
学校法人福島成蹊学園福島成蹊高等学校
学校法人松韻学園福島高等学校
福島県立郡山商業高等学校
福島県立郡山北工業高等学校
福島県立須賀川高等学校
福島県立白河実業高等学校
福島県立田村高等学校
学校法人尚志学園尚志高等学校
福島県立猪苗代高等学校
福島県立いわき総合高等学校
福島県立勿来工業高等学校
福島県立好間高等学校
福島県立四倉高等学校
学校法人山崎学園
福島県磐城第一高等学校
学校法人昌平黌
東日本国際大学附属昌平高等学校
福島県立相馬東高等学校



作品審査を終えて

青少年赤十字作品募集は「青少年赤十字活動の活性化と意識を高めること」を目的に今年度で第八回となります。

作品の応募数をみますと、詩『いのちの詩・愛の詩』１２６４点、一〇〇文字提案『あたたかい言葉のプレゼント』１０３６点、『わたしの夢・福島のみらい』２９１３点、『お友だちのすばらしいところ』１８７７点、高校生を対象とした『東日本大震災で、わたしが「気づき」「考え」「実行したこと、しようと考えていること」』４２７点、その他２２点、総数７５３９点に上りました。回を重ねるごとに寄せられる作品が多くなり、今年は昨年を大幅に上回る応募がありました。主催者としてうれしい限りです。

寄せられました多くの作品をていねいに審査するため、これまでになく人手と時間を掛けました。一次審査には四十五名の審査員が部門ごとに作品を選び、集計をもとに十一月十三日（水）日赤県支部において審査員十二名による二次審査会を行いました。午前十時から午後三時まで募集の趣旨に沿ったすぐれた作品選定に審査員一同真剣に取り組んだことをご報告いたします。

審査会を通しての感想を大きく四つの観点から述べてみたいと思います。

まず一番は、応募作品数の多さと、応募学校の増加が目を引きます。東日本大震災の復興支援事業の一環として日赤県支部が実施してきました青少年赤十字一〇〇文字提案作品募集を高く評価していただき、昨年度から『社長賞』を設けていただいたことも一因となっていることは確かです。人は「注目」されるとより磨きがかかるといいます。作品集は、青少年赤十字活動の事業として全国的にも注目されるようになりました。今後さらに質の高い作品が生まれる予感がするのです。

つぎに、作品の素材として多くの子供たちが取り上げていたのはやはり東日本大震災のことでした。震災直後、動揺と混乱に息をのんでいた子供たちが、三年目を迎えている今、改めて『震災』を通して、命のこと、友のこと、福島のこと、将来のことを考えようとしていることです。それだけ、心に傷を負っているとみることもできますが、大人が考えている以上に、次代に責任と自覚を持っている福島の子供たちを多くの作品から感得することができ頼もしく読ませていただきました。

三番目の感想は、表現上の工夫についてのことです。一〇〇文字という限られた字数の中で思いのすべてを記述することはかないません。体験を通しその時感じたこと考えたことを自分の素直な言葉で書くことが大切です。はじめに『命の大切さ』について、あるいは『家族への思い』を書きたいと決めて取り組むと、頭の中だけで考える作業をしてしまうことが多くなります。

よく見るのですが、『命は一つしかない、だから大切にしたい』という表現に遭遇します。実にその通りなのですが、読み手に作者の感動が伝わってこないのです。次の作品はどうでしょう。

そぼの家で
まめのかわむきをしていたら
まめにいも虫がついていた
これは小さないのち
あたたかい命
だから
そっと　外の葉にのせてやった

これは、最優秀になった桜の聖母学院小学校三年　占部太提さんの作品です。一つしかない命の大切さをよく表現しているではありませんか。審査会は、決してうまい作品を選ぼうとしたのではなく審査員の心を打ち、心をとらえた作品が多く選ばれたのです。

最後の四番目には、学校を上げて作品応募に取り組んでくださった学校が数多くあったということです。これは、家庭学習の一環として希望する子供たちに書かせるというのではなく、教育課程に位置付けて指導されている学校が増えているということでしょうか。そうした中から、今回新しく『学校奨励賞』を選定させていただきました。

以上、審査会を終え、多くの作品の中から入選作品を作品集として編集発行することができました。是非とも一つ一つの作品に目を通していただくとともに、子供たちの学習指導に役立てていただければ幸いです。

おわりに、作品を寄せていただいた学校、指導にかかわってくださった先生方、そしてたくさんの作品を寄せてくれた児童生徒の皆さんに対し、審査員一同心から感謝しお礼申し上げます。今後とも青少年赤十字活動を身近に感じ実践することを通してさらに良い作品が生まれることを祈っています。

平成二十五年十一月十三日　二次審査会にて
審査委員長　藤田伸朔

平成25年度 第８回青少年赤十字 詩・100文字提案作品入選者数一覧

応募作品数について

	小学校	中学校	高　校	計
詩				
いのちの詩・愛の詩	928	239	97	1264
100文字提案				
あたたかい言葉のプレゼント	733	198	105	1036
わたしの夢・福島のみらい	2336	418	159	2913
お友だちのすばらしいところ	1583	192	102	1877
東日本大震災	0	1	426	427
その他	22	0	0	22
応募総数	5602	1048	889	7539
応募校	60	14	20	94

入選該当者数

	最優秀			優　秀			佳　作			入　選		
	小	中	高	小	中	高	小	中	高	小	中	高
いのちの詩・愛の詩	8	1	1	30	7	2	33	13	4	55	21	6
あたたかい言葉のプレゼント	6	1	1	21	5	3	35	12	4	42	16	5
わたしの夢・福島のみらい	16	4	2	64	10	5	69	20	5	133	25	13
お友だちのすばらしいところ	11	2	1	32	7	3	41	10	5	100	7	10
東日本大震災	0	0	1	0	0	11	0	0	15	0	0	29
その他	*			*			*			*		
計	41	8	6	147	29	24	178	55	33	330	69	63

日本赤十字社社長賞：全ての最優秀の中から１点
日本赤十字社福島県支部長賞：最優秀賞の中からテーマごとに１点
県指導者協議会会長賞、県賛助奉仕団委員長賞：その他の推奨作品から１点ずつ
学校奨励賞：これまで継続して応募してくださった学校、今回多くの作品を応募した学校　14校に

審査にご協力いただいた皆様

審査委員長（福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長）

藤田　伸朔

審査委員（赤十字指導講師　青少年赤十字福島県指導者協議会

福島県青少年赤十字賛助奉仕団員）

青田　富男　荒木　藤夫　五十嵐賢治
壹岐　武熙　井上　隆光　鵜沼美枝子
大浪　政輝　大橋　勝彌　小島　喜一
小田　長次　勝見　五月　○川田　昌利
今野　滋子　齋藤　正寛　斎藤　裕子
○酒井　紹雄　佐瀬千代子　篠田　孝一
白石　允宏　鈴木　進一　鈴木　英孝
鈴木　幸子　高村　劼　武田　幸子
丹野　栄　圓谷　厚子　○長沼　源治
○平田　州一　○福井　一明　廣瀬　要人
古川　盛也　星　仁子　目黒美智子
柳沼　照栄　安田　悠子　矢萩　良雄
山口　彌代　渡邉　文勝

（○　第二次審査員）

（日本赤十字社福島県支部）

参事監　斎藤　武宜
総務課長兼組織振興課長　神野　幸夫
ボランティア係長　石田　政幸
嘱託　金子久仁子　鵜沼　秀雅　小池　樹里

青少年赤十字